

# 令和3年度 南あわじ市社会福祉協議会 事業報告書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)



## 福祉目標

「みんなで考え みんなでつくる 笑顔のまち  
～つなぐ・つながる・つなぎあう

## 重点目標

- A. 一人ひとりの生活を支えるネットワークづくり
- B. 活動をすすめるための組織基盤づくり

※赤い羽根が付いている活動には、共同募金配分金を活用しています。



### 取り組み①「地域ケアシステム(み～あシステム)」のしくみづくりに取り組みます

#### 活動項目①-1 地域ケアシステム（み～あシステム）のしくみづくり

##### (1) 自治会エリアでの見守り支え合い活動の推進【補助金・善意銀行・共同募金配分金】

第3次計画到達点…自治会での会議や活動に参加し、顔の見える関係を作っていく。また、モデル地区を設定し「支え合い(防災)マップ」づくりなどを通じ、地域での見守りや支え合いをすすめます。これらを通じて、既存の見守り活動や集まる場を支援し、住民が話し合える場としての「はなす会」を地域に増やします。

##### 【「はなす会」の開催】

月日	主な対象者と内容	地域（参加人数）
R3.11.17	伊加利地域づくり協議会「互近所見守り推進会議」にて、支え合い（防災）マップづくりを実施。自治会ごとにひとり暮らしや気になる人の情報をマップに落とし込みました。	伊加利（25人）

##### 【総括】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から地域での話し合いの場を設けること、住民に集まつてもらうことが難しい状況が続きました。ただ、これまでの活動からもわかるように、普段から見守り・支え合いの関係性をつくることが、災害にも強い地域をつくります。

今年度は1地区のみの開催となりましたが、作成したマップを地域のみなさまへお返しました。マップをつくり、課題を抽出して終わりとするのではなく、抽出した課題の解決に向けて具体的に地域で話し合う「はなす会」へとつなげていきたいと考えています。





【わたしたちが暮らす地域でのマップづくり体験：写真は伊加利地区】

### 【住民が集える場の推進・支援】

人は誰かと一緒に何かをして、同じ時間を過ごすと、過ごした分だけ心の距離が縮まります。これを「つながり」と呼んでいます。生活のあちらこちらでつくられている「つながり」は、人が「あつまること」によって「おおきなつながり」をつくります。人が集まると、「〇〇のことってどうしたらえんだあか」といった「生活のつぶやき」にふれることがあります。すると「私の知っている〇〇さんに聞いてみる」というように解決の糸口を探しはじめる場面が見られます。私たちは、この「大きなつながり」によって様々な問題を解決したり、新しい活動を生み出します。これを「ネットワーク」と呼びます。「生活のつぶやき」を解決する力の源は「あつまること」にあるのです。

話し合いや交流などのあつまりが繰り返されると、つながりが形成され、生活の相談ごとを話すようになります。この相談は、自然とお互いの「見守り」の姿へと発展します。このような見守りは、「ちょっと気になる人」の生活の困りごとや異変などを早期にキャッチすることになり、日常の生活を通じて、自分たちのできることを重ねあわせながら、お互いの「支えあい」へと地域活動として変化していきます。



### 【ふれあい・いきいきサロン事業の推進・支援】

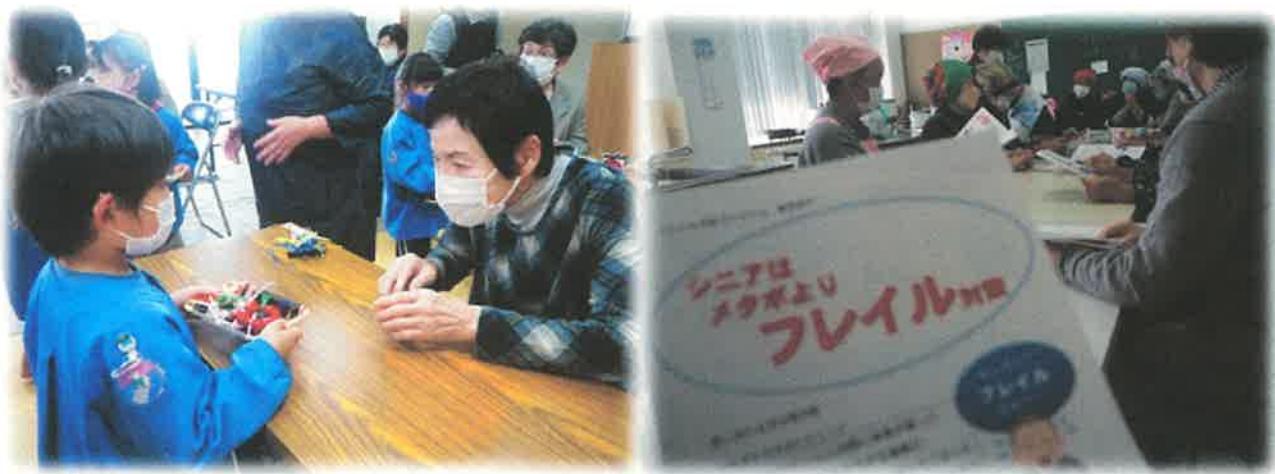
地域で元気に暮らすことができるよう、身近な地域で集える場(サロン)づくりを推進しています。コロナ禍で、計画通りの活動ができないと悩む活動者に対しては、感染症対策を万全にして行える活動を提示するなど、サロン活動を継続できるように後方支援を行いました。人と人がつながることは、日常生活の活力になるだけでなく、災害時の支援を地域内でスムーズに行う共助の原動力にもなります。継続した活動が行えるよう、それぞれのサロンに必要な支援を検討しています。

#### ■ふれあい・いきいきサロンの状況

##### 【緑エリア】10か所

サロン名	開催日数	場所	延参加人数	内容
ゆうゆうクラブ	12	大丸公会堂	122	さつま芋植え・掘り、神社清掃と湯立て、多肉門松づくり、まちづくり研修
ふれあいながた	9	コミュニティプラザ 長田	77	子どもへのお菓子プレゼント、ホウ酸団子づくり、骨折予防教室、干支の押絵、アクリルたわしづくり、こけ玉づくり、味噌加工、年賀状書き
中田サロン	11	中田公会堂	211	健康教室、ゲーム（室内ゲーム・ジグソーパズル・グラウンドゴルフ）クリスマスツリー・ケーキ作り）折り紙、切り紙

山添なかよし会	11	山添公会堂	211	ゲーム、料理教室、骨折予防教室、コミュニケーション麻雀、防災DVD鑑賞、園芸、緑風館出前講座
なでしこ	5	市場公会堂	31	電話での連絡、パンフレットと折り紙等の配布、おしゃべり
中筋いきいきサロン	5	中筋公民館	90	お花見、ゴキブリ団子つくり、ハーバリウム作り、クリスマス会
しづの里ふれあいサロン	5	倭文公民館	46	ゴキブリ団子つくり、生活教室、健康教室、ガーデニング
徳中なかよし会	5	徳原公会堂	30	神社の清掃
川向しあわせ会	3	川向公会堂	30	おしゃべり（情報交換、カラオケについて、今後の運営について）
幸会	14	倭文地区公民館	55	バスケットづくり、編み物（クッションカバーつくり、ひざ掛け）
合 計	80		903	



【つながりを途切れさせない。地域では様々な活動が行われています】



【西淡エリア】26か所

サロン名	開催日数	場所	延参加人数	内容
いきいきサロンIN西路	5	西路公会堂	62	健康講座、おしゃべり、会食、ゲーム、昔話、人権DVD鑑賞
雁来いきいきサロン	8	雁来 コミュニティセンター	117	輪投げ、ゴキブリ団子つくり、手芸、自人権DVD鑑賞
高屋ふれあいサロン	0	高屋公会堂	0	参加者で話し合った結果、1年休止
伊毘きさらぎ会	6	伊毘 コミュニティセンター	80	靴下配布、マスク配布、寄せ植え、
ひだまりサロン	8	阿那賀公民館	55	ゴキブリ団子つくり、会食、折紙、干支づくり、グラウンドゴルフ、寄せ植、編み物
きずな	9	古津路集会所	79	おしゃべり
喜多ひばり会	17	志知北公会堂	125	おしゃべり、体操、会食
きずな第2	9	古津路公会堂	67	おしゃべり、会食
サロンえじり	9	江尻集落センター	192	ゴキブリ団子つくり、工作、骨折予防教室、人権DVD鑑賞、花づくり講習会、防犯・詐欺予防講座、ゲーム
北方いきいきサロン	8	北方営農センター	56	集会所の清掃
慶野サロン	8	コミュニティ プラザ慶野	89	お花見、墓掃除、肩たたき棒とアクリルたわしの配布、宮掃除、おしゃべり
しらさぎ	4	志知川 コミュニティセンター	47	ゲーム、認知症の話、弁当の配布
みなとふれあいサロン	8	湊地区公民館	89	ポッチャ、お誕生会、食事会、餅つき、ちょぼ汁つくり、クリスマス会
MINATOいきいきサロン	10	湊活性化センター	252	阿波踊り体操、手遊び、寄せ植え
西本サロン	6	西本村 コミュニティセンター	66	ゴキブリ団子つくり、コロナ予防パンフレットと赤飯配布、行事食のレシピづくり
つくし会	9	志知コミュニティ センター・自宅	83	ゴキブリ団子つくり、生け花、寄せ植え、骨折予防協室、フラワーアレンジメント、リースづくり、会食
いきいき長寿の会	350	大江のり販売所	1,400	おしゃべり
ついつい行きたくなるお楽しみ会	7	津井交流センター	142	肩たたき棒作り、折紙、骨折予防教室、クリスマスリースづくり、植付けづくり、人権DVD鑑賞、ひな祭り
丸山サロン	9	丸山地区公民館	76	おしゃべり、脳トレ(クイズ、なぞなぞ、塗り絵) 口腔ケア講座、健康講座、認知症予防・防災講座、工作
松風	25	古津路集会所	233	体操、おしゃべり、会食
伊加利つながりサロン	8	伊加利地区公民館	44	おしゃべり、体操
グリーンつながりサロン	5	山口地区公会堂	40	おしゃべり、体操
K.G.S.バーチャンズ	250	池尻美容室前駐車場	1,500	ラジオ体操

ちどり会	16	松帆活性化センター	122	おしゃべり、工作、調理
コミュニケーションサークル ぱこ・あ・ぽこ	10	西淡志知公民館	108	おしゃべり、講座
味菜		岡部賀コミュニティープラザ	0	今年度登録、活動は来年度から
合 計	804		5,124	

【三原エリア】13か所

サロン名	開催日数	場所	延参加人数	内容
しづおりわかばサロン	1	倭文研修指導施設	9	神社清掃
ふれあいサロン松田	2	老人いこいの家	15	おしゃべり、体操
サロン 瞳会	10	倭文公会堂	70	おしゃべり、折紙、体操、会食
まほろばサロン	8	大根列公会堂・憩いの家	72	おしゃべり、折紙、手芸、人権DVD鑑賞、寄せ植え、輪投げ
しあわせサロン	0	養宜公民館	0	今年度は活動を休止
おたふくいきいきサロン	7	八木地区公民館	93	折紙、体操、囲碁ボール、マスクづくり、寄せ植え、
ゑびす	11	市地区公民館	182	名札づくり、版画づくり、スリムづくり、
十ヶ所スマイルクラブ	9	老人福祉センター	95	野辺の宮清掃、
小榎列サロン	一	小榎列集落センター	一	次期代表者不在のため、今年度で活動は中止
ゆずるはサロン	4	神代地区公民館	51	おしゃべり、ゲーム
ぐるーぱこすもす	4	八木地区公民館	58	健康チャレンジ教室、寄せ植え
くま志ろ	11	神代地区公民館	105	お達者音頭、ゲーム、寄せ植え、体力測定
サロンみなかみ	8	南上公会堂	31	おしゃべり
合 計	75		781	

【南淡エリア】25か所

サロン名	開催日数	場所	延参加人数	内容
新田北ふれあい・いきいきサロン	4	新田北集会所	77	デコパージュ、工作、生け花
あずまサロン	4	あずま 老人福祉センター	77	折紙、骨折予防教室、人権DVD鑑賞、地域の見守り
潮美台にこにこサロン	0	潮美台公民館	0	コロナ禍のため今年度は各自宅で体操

子育てママクラブ	5	アマテラス	69	阿波踊り、調理、クリスマス会、まき割り体験
さくらサロン	30	老人憩いの家 福良荘	243	体操
まつぼっくり	11	楽市楽座	59	おしゃべり、調理、マスクづくり、かご作り
友遊会サロン	16	老人憩いの家 福良荘	128	おしゃべり、体操
仁尾いきいきサロン	3	仁尾荘	39	おしゃべり、手芸、会食
フレッシュすいせん	11	灘生きがい 創造センター	75	おしゃべり、グラウンドゴルフ
サロンうぐいす	8	コミュニティセンター 白崎会館	50	おしゃべり、体操
千種いきいきサロン	38	大川公会堂	221	おしゃべり、体操
網屋にこにこサロン	9	うずしおルーム	111	手芸、デコパージュ、体操、会食
福友会サロン	0	老人憩いの家 福良荘	0	福良荘使用不可のため、活動場所を福良地区公民館にするが、参加者の自宅から遠くなりいけなくなったため、集まれなくなっている。
サロンいがの	5	伊賀野 コミュニティセンター	48	おしゃべり、会食、調理
北納屋サロンお茶場	8	南あわじ市児童館	60	健康講座、人権DVD鑑賞、工作、手芸
寿交会なかよしサロン	0	田中会館	0	高齢者が多いため、コロナ禍がもっと落ち着かない怖くて集まれない。
灘なでしこ	12	安田 お好み焼き店	66	調理、手芸、会食、奉仕活動
楽遊クラブ	12	慈眼寺	180	おしゃべり、体操
うずしお台いきいきクラブ	19	うずしお台 コミュニティセンター	120	おしゃべり、体操
コミュニティスペース エモラボ	30	コミュニティ スペースエモラボ	420	体操、おしゃべり、卓球バレー
賀集 咲く楽会	0	賀集公民館	0	コロナ禍のため今年度は中止
あわじユニアーバーサル スポーツの会	8	コミュニティ スペースエモラボ	182	卓球バレー、フライングディスク、ポッチャ
花みずき向谷	28	コミュニティプラザ 向谷	114	おしゃべり、習字
阿万卓球バレーチーム	12	コミュニティ スペースエモラボ	132	おしゃべり、卓球バレー
バッタリ会	12	青山さん宅前の バッタリ	69	おしゃべり、会食、調理
合 計	285		2,540	

## (2) 市民交流センターエリアでのネットワークづくり【補助金・共同募金配分金・善意銀行】



### 【緑】

内容	回数
・第2層生活支援コーディネーターとともに各市民交流センターを訪問…	24回
・民協の会議や活動に参加…	11回
・地区自治会の会議や活動に参加…	4回
(広田2回、倭文2回)	
・老人会等の活動や会議に参加…	1回
・地域づくり協議会などの会議に参加…	8回
・福祉連絡会について検討…	0回
	51回
第2層生活支援コーディネーターと共に緑地区の現状把握も含め、各センターを訪問しました。倭文地域づくり協議会では委員として、広田地域づくり協議会にはオブザーバーとして参画しています。協議体への参画、部会の運営などを通じ、地域住民と話し合いを重ねる機会となりました。次年度は、協議および事業に参加し、より一層社協活動の理解や地域とのつながりを広げていきたいと考えています。	

### 【西淡】

内容	回数
・第2層生活支援コーディネーターとともに各市民交流センターを訪問…	84回
・民協の会議や活動に参加…	9回
・自治会の会議や活動に参加…	2回
・老人会等の会議や活動に参加…	1回
・地域づくり協議会などの会議に参加…	2回
・福祉連絡会について検討…	0回
	98回
毎月、市民交流センターを訪問し、地域の情報把握、共有を継続して行ってきました。地域の活動も増加傾向にあり、老人クラブ等では社協活動の説明の機会なども増えてきました。また、伊加利地域づくり協議会では、支え合い(防災)マップへの取り組みをきっかけに、支え合い活動への取り組みに向けて協働することができました。	

【三原】

内容	回数
・第2層生活支援コーディネーターとともに各市民交流センターを訪問… 120 回	
・民協の会議や活動に参加…………… 12 回	
・自治会の会議や活動に参加…………… 10 回	
・老人会等の会議や活動に参加…………… 0 回	
・地域づくり協議会などの会議に参加…………… 11 回	
・福祉連絡会について検討…………… 0 回	
毎月上旬に、第2層生活支援コーディネーターとともに三原地区内の各市民交流センター等を訪問しています。ボランティアセンター・生活支援コーディネーターだよりをお渡しし社協の活動を地域へ発信しています。また各市民交流センター職員と地域の情報を共有する機会にもなっています。	153回
また、市地区地域づくり協議会と榎列倭文地区地域づくり協議会、八木地区地域づくり協議会に委員として参加しています。地域づくり協議会を通して、地域の方や各種団体等と関わることができ、情報を共有する機会となり顔のみえる関係性が構築できつつあります。その他、三原地区民生委員・児童委員協議会に参加し地域の情報の共有に努めています。	

【南淡】

内容	回数
・第2層生活支援コーディネーターとともに各市民交流センターを訪問… 72 回	
・民協の会議や活動に参加…………… 21 回	
・自治会の会議や活動に参加…………… 5 回	
・老人会等の会議や活動に参加…………… 0 回	
・地域づくり協議会などの会議に参加…………… 1 回	
・福祉連絡会について検討…………… 0 回	
新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される中でしたが、市民交流センター単位の会議や、地区民生委員・児童委員協議会に参加しました。地域の現状や情報把握に努めることができ、自治会長や民生委員・児童委員と気になる世帯と一緒に訪問する機会が増えました。	99回
また、福良地区地域づくりチャレンジ事業の一環として取り組む「寺子屋事業」を12月4日に住民、行政とともに実施することができました。今後も、市民交流センター、民生委員・児童委員協議会と協力し、地域の状況を把握しながら、地域課題などについて話し合い、小地域でのつながりを再構築できるよう働きかけていきます。	

### (3) 旧町エリアでのネットワークづくり【補助金・共同募金配分金・善意銀行】

第3次計画到達点…小地域では対応できない生活課題だけでなく、広域での地域づくりについて検討できる場、情報共有やネットワークづくりの場として「地区ネットワーク会議(仮称)」を開催していきます。

また、介護保険の新しい総合事業の生活支援サービスの体制整備における協議体としての役割を意識し、「地区ネットワーク会議(仮称)」委員の選出区分や、会議のあり方について見直しを行い、より具体的な話し合いが進められるようにします。

#### ■『地区ネットワーク会議』の設置に向けた活動・取り組み

内容	回数
地域ケア会議や単位民協へ定期的に参加することで、専門職や民生委員・児童委員との情報交換を行っています。	70回

#### ■支部運営委員会

##### 【みどり】

今年度は感染症対策を講じ、感染状況を見ながら計8回の運営委員会を開催しました。「みどりふれあい福祉のつどい」については、11月の開催を目指していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。その後の協議で、つどいに代わる事業について協議をしましたが、「こんな状況だからこそ地域住民がつどい楽しむ場が必要ではないか?」との声があり、3月に「みどりふれあい福祉のつどい」を今年度閉校となる倭文中学学校で実施する予定で協議を重ねました。最終的には、新型コロナウイルス感染症が拡がったため実施することはできませんでしたが、協議を重ねたことを糧とし、今後に活かしていきたいと考えています。

日付	内容	出席者数
R3.6.10	支部長・副支部長の選任 社会福祉協議会の活動について 令和3年度年間計画について	16
R3.7.15	「みどりふれあい福祉のつどい」について 「防災カフェ」について	17
R3.10.14	「みどりふれあい福祉のつどい」について 令和3年度共同募金運動について	16
R3.11.18	「みどりふれあい福祉のつどい」代替え案について	15
R3.12.16	「みどりふれあい福祉のつどい」実施に向けて 具体的な内容について	17
R4.1.20	「みどりふれあい福祉のつどい」実施の判断基準 と開催規模の検討について	17
R4.2.28	「みどりふれあい福祉のつどい」実施について 中止の決定	15
R4.3.24	倭文中学学校閉校に伴う学校見学 ※3年度の「みどりふれあい福祉のつどい」開催予定場所	15

【せいだん】

これまでの福祉まつりの規模を縮小した形のイベント、「ささえあいのWA in せいだん」の開催に向けて協議を重ねてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から止む無く中止となりました。今年度は、具体的な活動を実施できませんでしたが、支部運営委員会での各地区の情報共有などは、今後の活動に向けた有意義な協議となりました。次年度は、これまでの協議を継続しながら、取り組みをすすめていきたいと思います。

月日	内容	出席者数
R3.6.7	支部長・副支部長の選任 社会福祉協議会の活動について 令和3年度の年間計画について	12
R3.7.13	「せいだんふれあい交流のつどい」について	15
R3.9.28	令和3年度共同募金活動について ふれあい交流のつどい代替案について	12
R3.11.5	「ささえあいのWA」の開催について 地域の現状について	12
R4.1.11	「ささえあいのWA」当日の流れについて 地域の現状について	15
R4.3.8	来年度の活動について	13

【みはら】

みはら支部運営委員会では、三原地区の各市民交流センター単位から選出された委員に参画していただき、年間活動計画に基づき、主にみはら福祉の集い、みはら支部募金協力委員会、地域内の課題等について協議をしています。令和3年度も、新型コロナウイルスの感染拡大により「みはら福祉の集い」は中止となりましたが、「どうしたら開催できるか」について直前まで委員各位と協議・検討した結果を次年度へ活かしていきます。

月日	内容	出席者数
R3.6.8	支部長・副支部長の選任 社会福祉協議会の活動について 令和3年度の年間計画について	13
R3.10.22	みはら支部募金協力委員会 みはら福祉の集いについて	15
R3.12.14	みはら福祉の集い当日の流れについて	15
R4.3.31	※書面開催 みはら地区共同募金実績報告 令和3年度の事業報告について 令和4年度の年間計画(案)について	16

### 【なんだん】

今年度は、感染症対策を講じ、感染状況を見ながら計5回の運営委員会を開催しました。従来の「なんだん福祉まつり」の中止に伴い、舞台発表や健康相談、研修会など規模を縮小し2月に開催することを目指しましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。委員のみなさまからは、「長期化するコロナ禍の影響で困窮世帯が増加していると聞いている。そうした方を対象に相談窓口の設置や食材配布など身近な地域を対象に実施してはどうか？」との意見がありました。今後は、いただいたご意見をもとに協議を重ね、地域のニーズに応じた事業を実施していきたいと考えています。

月日	内容	出席者数
R3.6.10	支部長・副支部長・評議員の選任 社会福祉協議会の活動について 令和3年度年間計画について 地域の情報交換	20
R3.7.19	「なんだん福祉まつり」について 地域の情報交換	23
R3.10.12	「なんだん福祉まつり」について 地域の情報交換	23
R3.11.30	「なんだんつながりフェスタ（仮）」について	25
R4.1.18	「なんだん福祉まつり」について	20

### ■各支部まつり実行委員会

新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず

### ■支部研修会

新型コロナウイルス感染症の影響で実施せず



【支部運営委員会のようす：協議のプロセスを今後に活かします】

## ■第2層生活支援体制整備事業（生活支援Co(コーディネーター)の配置）

第2層生活支援体制整備事業を受託し、日常生活上の支援が必要な高齢者等が、住み慣れた地域で生きがいをもって在宅生活を継続していくために、生活支援サービスの充実をはかるとともに地域における支え合いの体制づくりに向けて活動しました。

コロナ禍が長期化していることで、地域での活動がストップし計画しても実施できないことが多くありました。感染症対策を万全にしながら、「こんな時だからこそできる活動」を生みだす検討を重ね、新たな取り組みにも着手しました。感染状況下でも活動を継続できる方法を検討していくことと並行して、地域活動が再開された時に活動しやすい土壤づくりをすすめました。

### ①生活支援サービスの創出

各地域のニーズを把握するために、地域ごとの社会資源を可視化する作業を多職種が連携して進めています。交流センター単位の地区カルテには、地域ごとの基礎データからコミュニティワーカーが参画している地域づくり協議会で話し合った内容までわかるように整理しています。新たに移動販売を始めた情報など、カルテに最新の情報を更新し、各関係機関と情報共有を図っています。

また、人が集まる場所をめがけて聞き取り調査に訪問するなど、地域住民の生の声を聞き取れるよう努めました。何気ない会話からでてきた困りごとをキャッチし、活動者につないでいます。今後は、地域の中で地域課題から生活支援サービスの創出に向けた話し合いができるように働きかけていきます。

### ②地域住民誰もが参加できる住民主体の集いの場の創出

いつまでも元気に住み慣れた地域で暮らしていくよう、集う場やふれあい・いきいきサロンの啓発を行っており、地区担当のコミュニティワーカーとともに地域を訪問しました。地域の中で集いの場となっているところを取材し「生活支援コーディネーターだより」等を通じて、情報の発信を行いました。

既存のサロンでは、活動の継続に悩むサロン代表者との連絡調整を行うなど、活動を継続できるように支援しました。集いの場の参加者への聞き取りまでは行えませんでしたが、地域の中で人が集まる機会の重要性やつながりの大切さを啓発しました。

### ③日常生活支援の仕組みに係る生活支援サービスの創出と管理

住民主体の集いの場の創出に向け、ハ木地区で地域資源を可視化し、これをもとに市のチャレンジ事業の一環として取り組んでいる「ふれい愛教室」の参加者への働きかけを行ってきました。チャレンジ事業の主管である市民協働課や平成病院との意見交換会を行い、今後の地域づくりに向けた働きかけ方について話し合いました。これからも、地域住民による地域課題の気づきを促し、地域住民と一体となった活動づくりにつなげていきます。なお、計画していた担い手養成研修は感染症拡大のため、4年度へ延期しました。

### ④地区について話し合う場の創出

毎月1回生活支援コーディネーターとコミュニティワーカーと一緒に市民交流センターに出向き、センター長等との情報共有を行っています。買い物に困難を抱える方が多い灘地区では、継続的な話し合いの場が開催されており、そこに参画することで現状把握と地域課題への取り組みを考える機会となりました。コロナ禍で地域の活動が停滞している中、今後どのような取り組みが必要か地域の活動者の声を聞きながら検討しています。

### ⑤生活支援体制進捗状況管理会議

第1層生活支援コーディネーターとの進捗会議を毎月実施しています。これまで取り組んできた活動の振り返りを行い、これから地域活動者への働きかけ方法を協議しました。地域活動の現状を把握するという意味で、10～12月は市地区交流センターで進捗会議を開催しました。会議には、交流センター長にも参画してもらい、交流センターの現状を聞き取りました。その中で、個別の課題が地域の活動者に届いていないことがわかり、そのつなぎができる地域での話し合いの場の構築に向けて活動をすすめています。

#### (4) 行政・関係機関(市域エリア)のネットワークづくり【補助金・共同募金配分金・善意銀行】

第3次計画到達点…福祉部局だけでなく、他部局や関係機関にも幅を広げた情報共有の機会を増やすことで、より専門的な視点での連携した支援や、多くの意見を反映した施策化やサービス開発を行います。

##### ■高齢者等元気活躍推進事業（おもいやりポイント制度）

高齢者がこれまで培ってきた経験や高いスキルを生かし、高齢者の生活支援、教育など様々な分野で仕事や社会貢献を継続していくことにより、地域の人手不足の解消を図ることを目指している市が推進している事業です。新型コロナウイルスの影響により休止となった活動が増えましたが、生涯活躍推進室と協働し、制度の周知を進めること、また活動者の安全と安心を守るためボランティア保険の加入申し込み手続きを行っています。

##### (1)おもいやりポイント制度登録説明会等開催支援業務への協力

実施日	場所	登録状況	
		内容	登録者数
R3.4.21	市役所	個別相談会	0名
R3.4.27	沼島地区公民館	地区別相談会	7名
R3.5.18	市役所	個別相談会	1名
R3.6.22	市役所	個別相談会	1名
R3.7.13	シーパ	街頭啓発活動	1名
R3.7.19	市役所	個別相談会	1名
R3.8.19	市役所	個別相談会	1名
R3.9.24	市役所	個別相談会	0名
R3.10.14	中央公民館	セミナー開催	1名
R3.10.18	市役所	個別相談会	2名
R3.11.11	福良地区公民館	セミナー開催	0名
R3.11.22	湊地区公民館	セミナー開催	2名
R3.11.25	市役所	個別相談会	0名
R3.12.17	市役所	個別相談会	0名
R4.1.20	榎列公民館	セミナー開催	2名
R4.1.24	市役所	個別相談会	0名
R4.2.15	保健センター	セミナー開催	0名
R4.2.24	市役所	個別相談会	0名
R4.3.14	市役所	個別相談会(更新)	3名
R4.3.23	福良地区公民館	地区別相談会(更新)	15名
R4.3.24	榎列公民館	地区別相談会(更新)	11名



##### ■「福祉のまちづくり推進会議」の設置に向けた活動・取り組み

内容
第2期南あわじ市地域福祉計画、第4次地域福祉推進計画を市民福祉部福祉課と協働し策定することができました。両計画の実効性を担保するための協議の場について働きかけていきます。

## ■庁内ネットワーク会議

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	新型コロナウイルス感染症による生活への影響が長期化する中で、各関係機関が実施している制度や支援施策について情報を共有しました。お互いにどこにつなげばいいのかを確認し、誰も取り残すことがないように支援体制を整えています。相談傾向や課題を共有することで、声なき声を拾い上げる取り組みをどのように広げていくか、また相談者に寄り添い続けることができるしくみも検討しています。
---------------------------	---

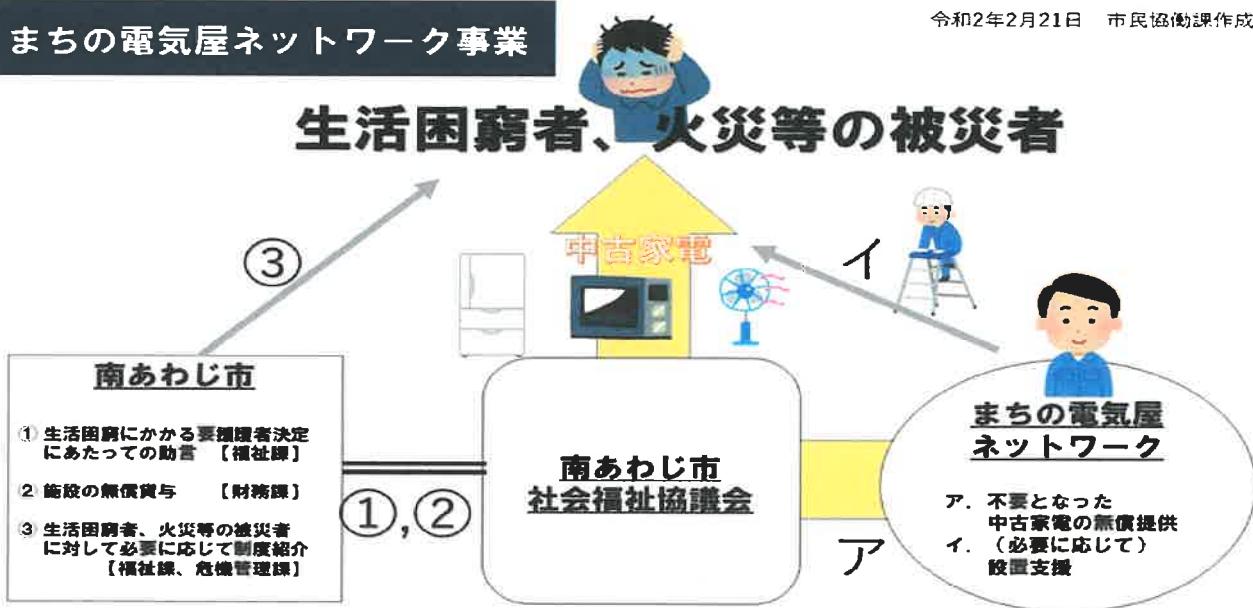
## ■まちの電気屋ネットワーク事業

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	生活困窮者や火災などにより、住宅や家財等を失くした方に、電化製品などを提供することで、自立した生活の再建に向けた支援を行っています。市内13店舗の電気屋が登録しており、使わなくなった電化製品の寄附と点検を行っています。 社協が、このネットワークのコーディネートを担っており、今年度は冷蔵庫他6品目8件を受け入れ、生活困窮世帯など2件に4品目を提供しました。
【登録電気店】 (有)前川電機商会、(有)浜野電機、庄司電気商会、喜田電気商会、三和商事(株)、松下電器、辻西電化センター、豊原電気商会、マスモトでんき、電気の店くろだ、サカベ電器、双葉電化、矢野ミシン電器商会	

## まちの電気屋ネットワーク事業

令和2年2月21日 市民協働課作成

### 生活困窮者、火災等の被災者



## ■社会福祉法人連絡協議会：ほっとかへんネット【市内11法人】

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	オンラインでの実務担当者会議を実施し、今後の活動について検討してきました。研修会などは実施できませんでしたが、災害備蓄品やテントなどの備品を整備することができました。また、兵庫県、兵庫県社協と連携し、兵庫DWATの立ち上げについて検討をすすめています。
---------------------------	--

■エリア単位の会議等への参加 ※「地区」は、市民交流センター域、「広域」は、市域を超えたもの

名称	エリア	主な参加・連携機関	参加回数
地区まちづくり協議会	地区	自治会、老人クラブ、民生委員児童委員、商工会、身障福祉協会、観光協会、交通安全協会、防犯協会、消防団、ボランティア団体、体育協会、いすみ会、小中学校、PTA、保護者会	15
地域ケア会議	旧町	民生委員児童委員、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、介護保険事業所、健康福祉事務所、行政	15
南あわじ市第2期地域福祉計画策定委員会	市域	民生委員児童委員、当事者団体、健康福祉事務所、ボランティア、商工会、農協、地域づくり協議会他	1
南あわじ市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定委員会	市域	民生委員児童委員、医師会、当事者団体、健康福祉事務所、特別支援学校、障害福祉事業所他	1
南あわじ市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会	市域	医師会、歯科医師会、施設代表、民児連、自治会、健康福祉事務所、老人クラブ、当事者団体、商工会	1
手をつなぐ育成会学齢期部会	市域	手をつなぐ育成会、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所	2
みはら家族会	市域	当事者、健康福祉事務所、ボランティアグループ、行政	5
認知症を支える家族の会	市域	当事者、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、行政	4
南あわじ市自殺予防対策会議	市域	民児連、医師会、当事者団体、健康福祉事務所、労働基準監督署、弁護士会、住民代表、行政	1
南あわじ市介護支援専門員会	市域	居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、行政	6
南あわじ市介護認定審査会	市域	医師会、病院、障害福祉サービス事業所、行政	4
南あわじ市障害支援区分審査会	市域	医師会、病院、障害福祉サービス事業所、行政	6
南あわじ市地域包括支援センター運営協議会	市域	医師会、司法書士会、歯科医師会、民児連、老人クラブ、健康福祉事務所、介護支援専門員	1
南あわじ市地域密着型サービス運営委員会	市域	医師会、歯科医師会、老人クラブ、被保険者代表、健康福祉事務所、施設代表	1
あわじ暮らしの安全・安心ネットワーク会議	市域	県、消費者協会、警察、防犯協会、民児連、自治会、女性会、老人クラブ連合会	1
南あわじ市障害者福祉施設運営委員会	市域	医師会、施設代表、当事者組織代表、民児連、自治会、健康福祉事務所、特別支援学校	1
地域サポート型特養度意見交換会	市域	包括、施設関係者、行政、社協	1

障がい者のコミュニケーションに関する意見交換会	市域	当事者団体、難病支援団体、行政、社協	1
南あわじ市人権教育研究協議会	市域	自治会、老人クラブ、女性会、民生児童委員協議会、人権擁護委員、手をつなぐ育成会、商工会など	5
淡路地域生活福祉・就労支援協議会	広域	兵庫労働局、洲本公共職業安定所、県社協、行政	1
淡路障害者自立支援協議会運営委員会	広域	相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	7
淡路障害者自立支援協議会こども連絡会	広域	小学校、特別支援学校、健康福祉事務所、教育事務所、こども家庭センター、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、行政	4
淡路障害者自立支援協議会放課後等デイサービス・児童発達支援事業所連絡会	広域	児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所	4
淡路障害者自立支援協議会相談支援事業所連絡会	広域	相談支援事業所、特別支援学校、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	12
淡路障害者自立支援協議会サービス管理責任者連絡会	広域	相談支援事業所、障害福祉サービス事業所	4
淡路障害者自立支援協議会くらす連絡会	広域	淡路島内3市社協	2
淡路障害者自立支援協議会事務局会議	広域	3市福祉担当者、洲本健康福祉事務所、地域生活支援拠点、3市基幹相談支援センター	7
淡路精神障害者生活支援連絡会	広域	医師会、精神科病院、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	4
ひきこもり地域連携ネットワーク会議	広域	3市健康課保健師、健康福祉事務所、3市社協、兵庫県企画県民部青少年課	2
ひきこもり・不登校のための連携定例会議	広域	南あわじ市健康課、福祉課、ゆめるん課、教育委員会、淡路教育事務所	2
淡路精神障害者地域移行推進会議	広域	医師会、精神科病院、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	3
南あわじ市地域公共交通会議	市域	自治会、老人クラブ、民生委員・児童委員、商工会、身体障害者福祉協会、観光協会、兵庫県バス協会、兵庫県タクシー協会、淡路交通	2
南あわじ市生活困窮者庁内ネットワーク会議	市域	市役所関係部局、社協、関係機関	2
医療的ケア児支援検討会	市域	医師会、市内相談支援事業所、医療センター、訪問看護事業所、教育委員会、ゆめるん課、福祉課、基幹相談	1
医療的ケア児等生活支援検討会	広域	3市医療的ケア児等支援会議主担当、医療的ケア児等コーディネーター、圏域コーディネーター	5

## (5) 緊急災害時に対応できるネットワークづくり【補助金・共同募金配分金・善意銀行】

第3次計画到達点…大規模災害が起こった時、救援体制がスムーズに整い、救援活動が行えるよう、行政や関係機関と協議を図りながら、災害救援マニュアルを改訂します。また、日頃の備えや自助、共助の意識啓発などを目的に、ぼうさいカフェや支え合い(防災)マップづくりなどを小地域で行います。

### ■災害時救援協定の締結

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	南あわじ市地域防災計画に基づくセンターの設置及び運営等に関する必要な事項を定め、被災者等の生活の早期安定に寄与することを目的に、行政と協定を締結しています。
---------------------------	--

### ■支え合い(防災)マップづくり

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	平成29年から支え合いマップづくりを推進していますが、継続実施に至っていないのが現状です。マップづくりの中では、普段話す機会の少ない自治会内での支え合いや防災について話し合い、防災意識を向上させるきっかけとなるように働きかけます。 これまで大きな災害が少なかった地域では防災意識が低く、いかに自分ごととして考えてもらえる働きかけができるかが課題となっています。今後も、行政と連携し住民へ意識啓発を行っていくツールとして支え合い(防災)マップづくりを推進していきます。
---------------------------	--

### ■災害救援マニュアルの見直し

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	防災ワーキングチームにて防災研修を計画しましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施することができませんでした。今後も社協内部で発災後の対応を考える機会を設け、研修や協議を重ね事業所ごとのマニュアルを作成(見直し)していく予定です。
---------------------------	--

### ■防災訓練の実施

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	11月21日(日)に神代小学校にて実施された南あわじ市総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。 今年度は、社会福祉法人連絡協議会に参加していただき、感染症予防対策を講じた上で、インターネットを活用したボランティアの受付、マッチング、ニーズの聞き取りなど、災害ボランティアセンターの運営に係る訓練を行いました。 大規模災害が発生した際に、ケアマネジャーや福祉施設と協力して被災した方の状況確認や、福祉サービスを利用されている方の避難方法について検討する機会となりました。
---------------------------	--

### ■BCP(事業継続計画)の策定

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	サービス事業所の管理者等が研修会に参加し、BCPの作成に向けての準備を進めています。
---------------------------	--



【総合防災訓練:当事者のみなさんと一緒に参加・振り返り】

## 取り組み② 尊厳が守られ自分らしく生活できるようにします

### 活動項目②-1 相談窓口の強化

#### (1) 相談窓口の強化【受託金・補助金】

第3次計画到達点…住民のみなさまに相談しやすい社協として認識・信頼してもらえるよう、日々の相談事業を積み重ねていきます。関係機関、専門職とケース検討会や日々の仕事を通し、ともに連携し、解決に結びつく窓口をめざします。また、住民のみなさまに「相談して良かった」と思われる相談窓口をめざします。

#### ■総合相談事業

社協に寄せられるすべての相談を生活の困りごと全般に関する「一般相談」とボランティア、福祉学習等、社協に関する「社協事業」に分類し、相談内容を分析しました。前年度に続き生計に関する相談の割合が半数以上を占めています。

社協事業では、令和2年度は「685」件ですが、令和3年度は「99」件でした。この差については、社会情勢や地域の傾向ではなく、業務煩雑や認識のズレによる「職員の意識」関連から生じたものであります。令和4年度ではこうした意識のズレが生じないよう、早急に対策を講じていきます。

ただその中でも、地域へ発信したり、連携が必要な事業に関する相談対応件数は少ないことは明らかです。住民の地域福祉活動の停滞傾向は継続しており、「編方長子さん」や「縫野得枝さん」の推進強化に加え、新たな活動の提案や実施を進めて行きます。

※効果的に分析を行うため、今年度は「コロナ特例貸付」や「日常生活自立支援事業」の利用者からの相談は含めていません。

#### 一般相談

#### 社協事業

198

99



#### 一般相談内

#### 社協事業内

障がい者福祉 4 高齢者福祉 20

教育・青少年

母子保健・児童福祉 1

財産 7

人権・法律 1

精神衛生 4

健康・保健

3

家族 6

住宅 23

職業・生業

6

年金 1

生計 114

その他 20

会費 1

善意銀行 14

共募 11

助成 3

ボランティア 8

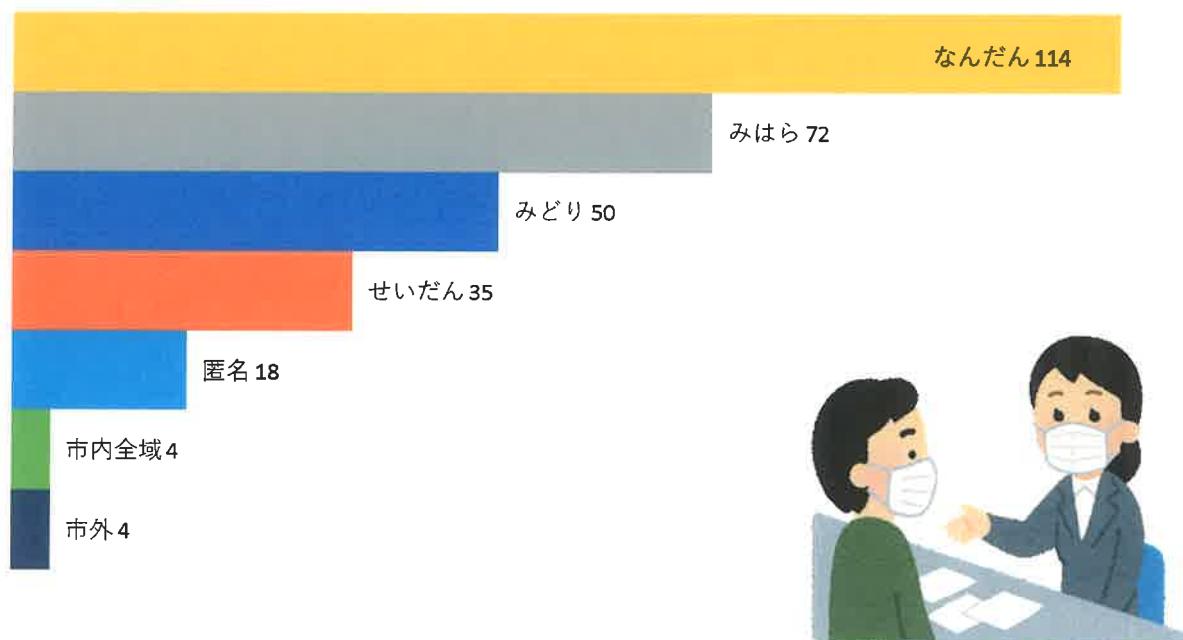
関係団体支援 4

資金 11

法律相談 3

福祉学習 6

## エリア別相談内訳



旧町ごとでは、今年度も旧南淡町域が最も多く、次いで旧三原町域が多くなっています。引き続き、『地域力強化』という共通の目標を住民や行政等、さまざまな立場の方々との連携、継続して取り組むべき課題であります。

### 《相談経路》

相談者	本人	家族	地域	社協	市役所	他機関	その他	合計
件数	175	14	41	17	37	10	3	297



### ■ケース検討会の実施

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	(地域)「ワーカー連携会議」内…週1回 ※昨年度までは別に「事例共有会議」で実施してきましたが、今年度から地域活動との連携強化のため変更 (居宅)事例検討…週1回 (相談)事例検討…週1回 (上記3部署共催)「オール社協会議」…週替わりで旧町単位毎、計月4回
---------------------------	---

### ■職員の専門性、相談援助技術の向上

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	今年度は、旧町単位毎に実施している「オール社協会議」内にて、各部署で対応した事例の共有・検討を実施しました。それぞれの専門職の強みを活かした検討が行われ、これまで示してきた「多職種連携」、「すべてのライフステージにおける切れ間のない支援体制構築」の強化に取り組んでいます。また、各職員はコロナ禍で外部での研修に制限がある中、オンライン研修等を積極的に受講し、日々の相談技術向上に努めています。
---------------------------	--

### ■相談記録の徹底と数値化

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	今年度も地域福祉課において、相談件数や、内容、傾向などが分析でき数値が反映できるよう、行動記録の記入に取り組んでいます。課題としては、各職員の見解によって、同じ相談対応でもとらえ方に偏りが出てしまうことです。そのため、社協全体での傾向や分析ができるよう4年度も引き続き改善に努めます。
---------------------------	--

### ■障がい者相談支援：市委託事業

障がい者や家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、当事者や関係者から寄せられる地域生活全般に関する各般の課題解決を図るために活動しました。

全体的な相談傾向として、成人のケースは何らかの生きづらさを抱えていて障害福祉サービスの利用につながるがサービスに馴染めずに中断する、また利用を検討しても該当するサービスがない場合などが多く見られました。児童のケースは、ライフステージの変わり目でサービスを中止する、また療育は希望していないが就学に不安を抱えているケースが増えています。ご本人やご家族の意向を確認しながら対応していくため、手厚い継続的な支援が必要です。

名称	開設日	時間	対象														
			実人員		身体障害		重症心身障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		その他
者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児
H29年度	33	13	1	0	0	0	8	6	16	0	1	4	1	0	6	3	
H30年度	54	21	4	1	0	0	11	5	32	0	6	9	0	0	5	6	
R1年度	80	34	6	3	0	1	21	8	38	0	11	10	2	0	6	15	
R2年度	45	18	4	2	2	1	14	4	19	0	8	6	0	0	3	7	
R3年度	59	31	3	2	0	0	16	7	30	1	11	11	0	0	0	12	

《過去5年間の相談者数》

対象	実人員		身体障害		重症心身障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		その他	
	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児
H29年度	33	13	1	0	0	0	8	6	16	0	1	4	1	0	6	3
H30年度	54	21	4	1	0	0	11	5	32	0	6	9	0	0	5	6
R1年度	80	34	6	3	0	1	21	8	38	0	11	10	2	0	6	15
R2年度	45	18	4	2	2	1	14	4	19	0	8	6	0	0	3	7
R3年度	59	31	3	2	0	0	16	7	30	1	11	11	0	0	0	12

福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に参加する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
266	121	126	127	130	152	45	115	81	15	6	19	1,203
111	46	65	135	38	118	17	75	26	1	2	21	655

※下段数字は、前年度のもの

### ■基幹相談支援：市委託事業

相談支援事業所からの相談や医療機関からの相談が増えています。支援困難ケースとして、相談支援専門員の後方支援として関わるケース、治療にはつながっているけど福祉につながれなかつたケースへの対応には緊急度に応じながら対応しています。対応したケース数は増加傾向にあり継続した相談支援体制を構築していく必要です。相談支援の体制強化としては、主催する事例検討会では、オンラインでの実施ができたことで、新型コロナウイルス感染状況に関わらず開催することができました。また、医療的ケア児等への支援体制を整備するため、医療的ケア児等コーディネーターを中心に検討を重ねています。今年度から、2名が主任相談支援専門員の資格を取得し、兵庫県が実施する法定研修の演習講師を務めました。

#### (相談対応件数)

対象	実人員		身体障害		重症心身障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		その他	
	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児
R3年度	39	3	3	1	0	0	2	0	24	0	4	2	0	0	6	0

#### (会議への参画)

会議の内容	自立支援協議会 事務局会議
	自立支援協議会 相談支援事業所部会
南あわじ市訪問介護事業所連絡会議	
市町相談支援担当者、基幹相談支援センター等連絡会議	
ひきこもり・不登校のための連携会議	
医療的ケア児等の生活支援検討会	
医療的ケア児等の生活支援検討会事務局会議	
三市基幹・拠点・圏域担当者会	
県基幹相談支援センター連絡会議	
サービス担当者会議	



#### (研修会等への演習講師として参画)

内容	兵庫県相談支援初任者研修(打合せを含む)
	兵庫県相談支援現任者研修(打合せを含む)

(勉強会・研修会の実施)

内容	相談支援事業所の後方支援(初任者研修修了者を含む) 相談支援事業所部会の研修のあり方と人材育成について 三市基幹、拠点、圏域コーディネーターとの打ち合わせ 相談支援事業所部会の研修と主任相談支援専門員の役割について 事例検討会(対面・訪問・オンライン) 相談支援事業所部会研修打ち合わせ 相談支援事業所部会研修
----	---

■障害者虐待防止センター：市委託事業

名称	開設日	時間
南あわじ市障害者権利擁護センター	月曜日～金曜日	8時30分～17時15分 ※電話相談は24時間対応

《相談・通報者》

本人	家族	事業所	警察	医療機関	その他
0	1	2	1	0	5

《内容》

身体的	放棄放任	心理的	性的	経済的	その他
6	0	2	2	3	0

■生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業：市へ職員1名を出向

今年度の新規相談件数については昨年度の約2倍の200件を受け付けました。相談件数が増大した理由としては、昨年7月から新型コロナウイルス感染症特例貸付総合支援資金の貸付終了者世帯を対象とした「生活困窮者自立支援金」、市の対策として「生活応援給付事業」によるプレミアム商品券発送時に添付したアンケート調査を実施し回答者に対して聞き取り調査を実施したことによるニーズの掘り起こしが主な理由です。相談内容としては新型コロナウイルス感染症の影響による会社や取引先の業績悪化による出勤日数の制限、事業主の方は運転資金の確保が難航していることで申請されるケースが約4割ありました。それ以外にも親の入院により医療費・生活費の捻出が難しいこと、消費者ローン等の債務による生活苦、ひきこもり・障がいのある世帯の親や家族亡き後のこと、親が子育中の子を支えるため自身の勤務時間を調整せざるを得ないなど相談内容は多岐にわたりました。

また相談経路の大半が関係者や関係機関を介しており、相談者からは「自分や家族の悩みをどこに相談していくか分からなかった」という声が多く寄せられました。

今後の対策として、高齢や持病があっても就労できる場の開拓や市内の関係機関と一緒に相談を受け止められる体制づくりが必須です。

今後も相談者の声なき声を拾い上げ、行政内の各課や関係機関と連携しながら、相談者に寄り添いながら必要な情報を届け続けるとともに、必要な支援につなげていく取り組みを行います。



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相談者数	15	19	15	24	28	24	23	16	14	4	10	8	200 (101)

※( )中数字は前年度のもの

《相談者が抱えている問題》※一つのケースで複数の問題を抱えています

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
病 障 害 （ 手 帳 未 取 得 ）	障 害 （ 手 帳 有 ）	メンタルヘルスの課題	住まい・ホームレス窮屈	経済困窮	（多重・過重）債務	家計管理の課題	就職活動・定着困難	生活習慣の乱れ	社会的孤立	家族関係・家族の問題	介護立退	中学校中親	卒業・高校中親	ひとり親	D・虐待	刑	コミュニケーションが苦手	本人の能力の課題その他	合計
54	2	3	25	30	152	20	97	49	3	5	78	17	0	21	2	0	6	49	613

《支援内容》

情報提供・相談のみ	他制度・機関につなぐ	同意に向けて取り組む	プラン策定※	スクリーニング前	計
157	39	2	1	1	200

※前年度受付分及び再プランを含む

■生活困窮者等への食材支援

生活困窮の相談者や生活保護世帯へ必要に応じて食材を提供しています。今年度は、25世帯、2団体、41回の食材支援を行いました。これらの食材は、消費者協会が行っているフードドライブやおでらおやつクラブ、コーポこうべ、住民などから寄せられたお米や野菜、レトルト食品等、年間延べ90回提供を受けたものを活用しています。

今年度は生活保護申請中や受給中の方も多く受け取られており、家計管理に課題を抱えている世帯が多いことが改めて浮き彫りになりました。また、食材の提供により、貸付金額の抑制につながっており、効果的な活用について引き続き検討が必要と考えます。

《地域別相談》

縁	西淡	三原	南淡	島外ほか
21	40	57	74	8

( )中数字は前年度のもの

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
提供回数	6	2	2	1	2	5	7	5	3	2	1	5	41 (54)



【上半期多くの食材をいただきました】

## ■生活福祉資金貸付事業・法外小口資金貸付事業

低所得世帯をはじめ障がいのある方や介護が必要な高齢者等のいる世帯に対して、資金の貸付と民生委員・児童委員が必要な支援を行うことにより、経済的自立と生活意欲を高めると同時に在宅福祉及び社会参加を促し、世帯が安定した生活を営むことができる目的として貸付をしています。また、法外小口資金は生活保護受給までの一時的な生活つなぎ資金という名目が大半を占めています。相談時から福祉課と連携を図りながら個々のケースに対応できた一方、地域との関係調整など世帯の自立に向けた連携と協働のあり方を検討していく必要があります。

資 金 種 類		今年度	前年度	貸付（償還）中の件数
教 育 支 援 資 金		4	1	69
福 祉 資 金	生業を営むために必要な資金	0	0	1
	技能を習得するために必要な資金	0	0	0
	住宅の増改築や改修のために必要な資金	0	0	0
	福祉用具を購入するために必要な資金	0	0	0
	中国残留邦人の年金追納に必要な資金	0	0	0
	療養のために必要な資金	1	0	2
	介護・障害福祉サービスに必要な資金	0	0	0
	冠婚葬祭に必要な資金	0	0	1
	住居の移転等に必要な資金	1	0	6
	その他日常生活上一時的に必要な資金	4	0	6
緊急小口資金		0	1	1
総 合 支 援 資 金		0	0	34
不 動 产 担 保 型 生 活 资 金		0	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	0
特 コ ロ ナ 貸 付	緊急小口資金	92	132	224
	総合支援資金 生活支援費	70	63	133
法 外 小 口 資 金		23 (18)	46 (43)	

※法外小口資金の（ ）中数字は、年度内に償還が完了したもの

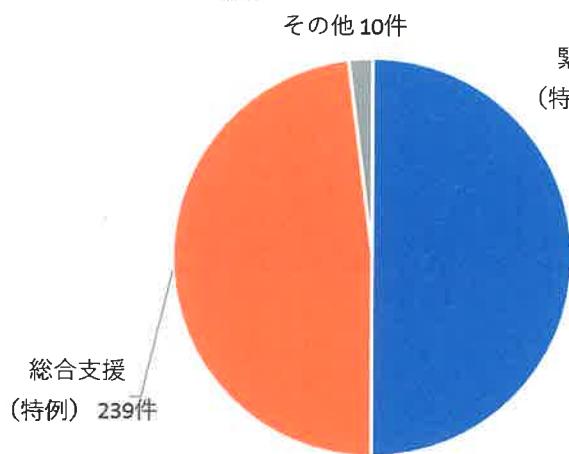
## ■新型コロナウイルス特例貸付

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、休業や失業等により世帯の生計維持が困難となっている世帯を対象に生活再建を行う間の生活費の貸付を令和2年3月25日から開始しました。この間の経済状況の悪化に合わせて給付金をはじめとする公的支援が手元に届くまでに生活維持が困難に陥った世帯も多く、今後も相談時から自立相談機関や各関係機関と連携しながら、生活に必要な情報提供とともに世帯の自立に向けた支援をすすめていきます。

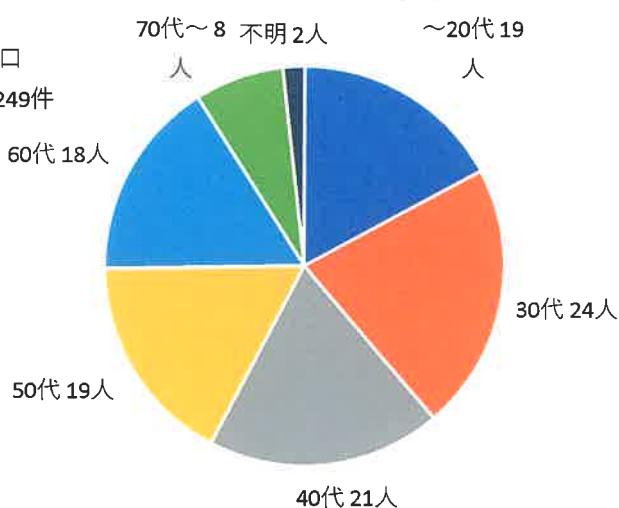
## 相談者の推移



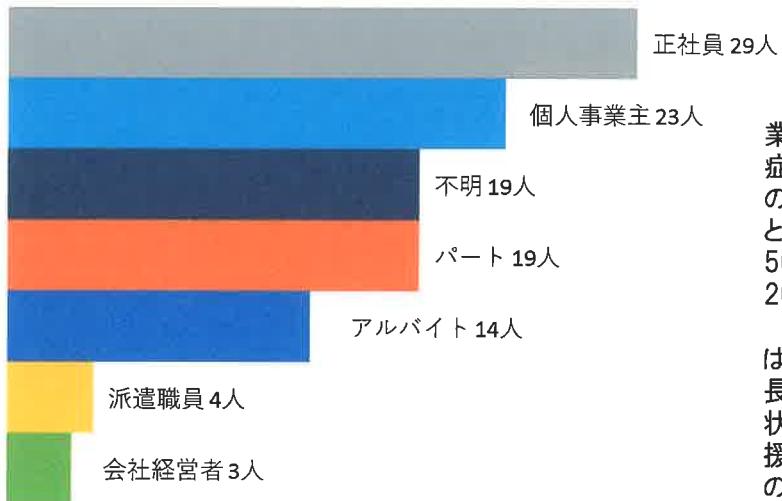
## 相談区分



## 年代別内訳



## 就業形態別内訳



今年度の相談傾向は業種別では運輸業、就業形態別では正社員が多く、感染症拡大の影響を受けやすい観光・飲食等のサービス業、個人事業主を上回る結果となりました。年代別でも昨年度は5割弱が50代～70代以上であったのが、今年度は20代から40代が約6割となっています。

相談の主流が現役世代に、安定していたはずの正社員に移行している点を見ると、長期化するコロナ禍の影響がさらに深刻な状況にあると推測できます。貸付による支援はすでに限界にきており、社会保障制度の大幅な見直しが求められていると分析しています。

## ■日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、支援を行っています。生活困窮者自立支援事業で受けた相談の中には、金銭管理に不安を覚えている方もおり、本事業の利用も検討する等、相談を一体的に受け止め、相談者に必要な支援を考えていきます。

初回相談	5 (8) 件	新規契約者数	4(5) 人
相談回数	411 (310) 件	利用実人数	25 (25) 人

( ) 中数字は前年実績

### 相談内容内訳



### 【コメント】

今年度は相談援助の件数が前年度よりも多く上がっています。これは、臨時特別給付金の支給やスマートフォン決済の普及により、これまで培った家計管理能力が乱された利用者が多かったことが大きな原因と分析しています。関係機関からの情報収集や協議等、体制の見直しは必須です。

### 《対象者別契約者数》

契約者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件 数	4 件	10 件	11 件	0 件	25 件

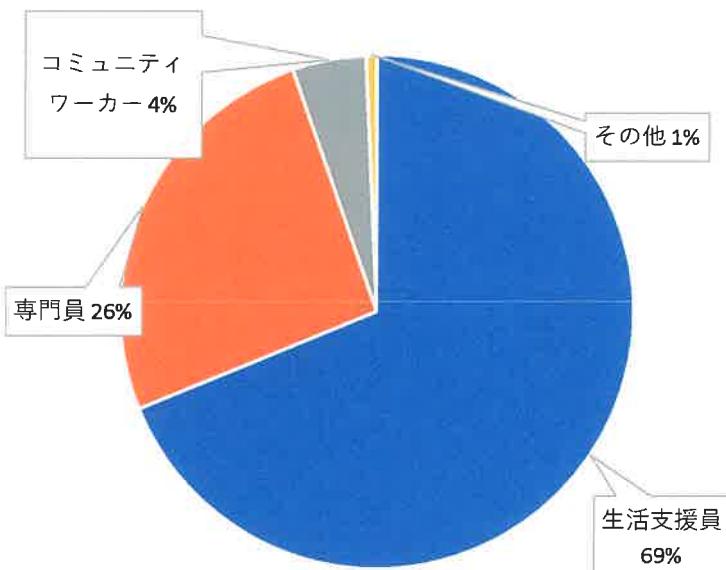
### 契約者内訳



### 《過去5年間の支援回数》

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延支援回数(回)
H29年度	29	30	29	28	30	21	35	26	33	34	35	30	360
H30年度	39	41	45	49	49	42	44	40	40	54	49	52	544
R元年度	60	60	55	65	61	59	65	57	59	55	54	49	699
R2年度	52	54	59	63	61	59	64	60	62	53	60	75	722
R3年度	92	84	104	105	104	98	109	96	103	108	118	111	792

## 支援回数内訳



### 【コメント】

他の相談事業で、家族親族の不在や関係性悪化に伴い、保証人設定で課題を抱える相談者がおられました。令和4年度は、本事業の周知や体制を強化していくと共に、法人後見についての検討も開始予定です。

## (2) 相談支援体制の強化【補助金】

第3次計画到達点… 社協では、行政や関係機関と連携し、切れ目のない相談支援に取り組んでいます。次の5年間では、包括的な相談支援の仕組みの「見える化」に取り組み、南あわじ市における相談支援体制を構築します。

### ■ 庁内ネットワーク会議※再掲

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	新型コロナウイルス感染症による生活への影響が長期化する中で、各関係機関が実施している制度や支援施策について情報を共有しました。お互いにどこにつなげばいいのかを確認し、誰も取り残すことがないように支援体制を整えています。相談傾向や課題を共有することで、声なき声を拾い上げる取り組みをどのように広げていくか、また相談者に寄り添い続けることができるしくみも検討しています。
---------------------------	---

### ■ 包括的な相談支援体制構築に向けた研究会

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	第2期地域福祉計画と第4次地域福祉推進計画の策定作業を合同でするなかで、「重層的支援体制整備事業」ほか国の政策動向を見据えた議論を行いました。府内連携、多機関協働など乗り超える課題は多いですが、それらが両計画に位置付けられたことから、次年度も行政に対し働きかけていきます。
---------------------------	--

## 活動項目②-2 思いに寄り添ったサービスの開発・充実

### (1) ニーズに応じた地域福祉サービスの開発【補助金・共同募金その他】

第3次計画到達点…地域資源の整理を行い、ニーズを把握、分析します。既存のサービスでは対応できないニーズに対し、住民と一緒に新たな事業を展開します。

#### ■食でつなぐ！南あわじの輪！架け橋パントリープロジェクト【市民プロジェクト】

長期化するコロナ禍の影響により、日々の生活に困窮する世帯が増加していることを受けて、フードバンク淡路島、消費者協会、コーブこうべ、福祉課との連携により「食でつなぐ！南あわじの輪！架け橋パントリープロジェクト」を実施しました。食材の配布で一時的な支援を行うこと、希望者には相談窓口を開設し、生活面の相談に応じています。

また、住民のニーズを把握するためアンケート調査を実施しています。なお、必要な方に確実に情報が届くよう、特例資金利用世帯、ひとり親世帯等へ郵送で案内しました。

月日	内容・利用者数	場所
R3.8.4	食材の仕分け等10名（消費者協会7名、いずみ会2名、フードバンク淡路島1名）	203会議室
R3.8.5	食材無料配布41名	〃
R3.8.6	食材無料配布52名、相談1名	〃
R3.12.6	お米の精米作業(約1トン) (ボランティア2名)	市内の精米所
R3.12.8	食材の仕分け等10名（消費者協会5名、いずみ会3名、フードバンク淡路島1名、個人ボランティア1名）	203会議室
R3.12.17	食材無料配布80名	〃
R3.12.18	食材無料配布29名	〃
R4.3.22	お米の精米作業(約600kg) (ボランティア3名)	市内の精米所
R4.3.24	食材の仕分け等10名（消費者協会5名、いずみ会4名、Nano花くらぶ3名、フードバンク淡路島1名、個人ボランティア2名）	203会議室
R4.3.28	食材無料配布70名	〃
R4.3.29	食材無料配布39名	〃



## ■みんなの食堂（新規事業）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地元生産者の支援と、生活に困窮する世帯への食の支援を目的に、地域の誰もが自由に利用できる食堂を市と協働して実施しました。一堂に会して、食事をとることにリスクがあると判断し、下半期はお弁当の配布のみになりました。市内の飲食店の協力を得て実施したことで、地元の食材を使った美味しい食事を提供することができました。

月日	内容・利用者数	場所
R3.8.2	協力者：いずみ会8名、登録ボランティア5名、志知カフェほか 利用者：食堂50人、弁当103人	美菜恋来屋 フードコート
R3.8.27	協力者：いずみ会8名、KEKKOIほか 利用者：食堂0人（緊急事態宣言のため）、弁当155人	美菜恋来屋 フードコート
R4.1.17	協力者：いずみ会2名、志知カフェほか 利用者：弁当118人 ※食堂は新型コロナウイルス感染拡大のため中止	美菜恋来屋 フードコート
R4.2.14	協力者：いずみ会2名、志知カフェほか 利用者：弁当118人 ※食堂は新型コロナウイルス感染拡大のため中止	美菜恋来屋 フードコート
R4.3.14	協力者：いずみ会2名、志知カフェほか 利用者：弁当118人 ※食堂は新型コロナウイルス感染拡大のため中止	美菜恋来屋 フードコート

## ■ミニデイサービス（第6波の感染症拡大による緊急一時的な事業）

新型コロナウイルス感染症がまん延したことで、市内特別養護老人ホームも大きな影響を受けました。通所介護の受け入れを中止せざるを得ない状況が続き、サービスを利用できない方への対応として、緊急一時的にミニデイサービスを実施しました。普段は、通所介護を利用している認知症の方の対応に同居家族が疲弊しているとの相談を受け、社協でできることがないかと検討した結果、4日間の実施に至りました。慣れない雰囲気に戸惑うご利用者様もいらっしゃいましたが、会場には参加者の笑顔があふれています。

月日	内 容	参加人数
R4.2.17	ゲーム、足浴、ビデオ鑑賞、昼食	4名
R4.2.18	ゲーム、足浴、脳トレ、昼食	5名
R4.2.22	ゲーム、足浴、ビデオ鑑賞、昼食	4名
R4.2.24	ゲーム、足浴、脳トレ、散歩、昼食	4名



【臨時のミニデイサービス、法人の枠を超えた力合わせ】

## (2) 地域福祉サービスの充実【補助金・受託金・善意銀行・共同募金配分金・事業収入】

第3次計画到達点・開発したサービスや継続実施しているサービスについて、PDCAサイクルに基づき、計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Act)するシートを作成し、定期的に見直す仕組みをつくることで地域福祉サービスの充実を図ります。

### ■サービス評価シート

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針性等)	事業ごとに計画書・報告書を作成し、事業終了後には部内での情報共有にも努めています。今年度からワーカー連携会議であがつた課題を多職種が参加する「オール社協会議」で話し合いの場を持ち、活動の評価や開発、改善に向けて話し合いを重ねています。
----------------------------	---

### ■利用者アンケート

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針性等)	今年度は、前述した「架け橋パントリー」「みんなの食堂」等の企画を活用し利用者からアンケート兼ニーズ調査を行いました。これ以外にも地域福祉推進計画策定にかかる住民意識調査や市が行った生活応援給付金対象世帯へのアンケートなどから、多くの住民の意識やニーズを把握できました。これらをしつかり分析し、サービスの改善はもとより第4次地域福祉推進計画へ反映したいと考えています。
----------------------------	---

**南あわじ市民プロジェクト フード架け橋事業**

~食品ロス問題とフードドライブの取り組み~

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロス問題。食品ロスの多くは家庭からのもので、家庭ロス全体の約半数を占めています。家庭で育っているお年寄りお子さんなどへ届けることができる取り組みのフードドライブは、市民一人ひとりがどれでも気軽に参加できる活動です。誰が市民をつなぐ架け橋となり、食によって市民がつながり、南あわじの輪をひろげます。



この取組を身近なものに

**フードドライブ・デイ**  
はじまります！

**毎月実施！**

**フードドライブ・デイ**

○南住みなさまが食品・食材を気軽に持ち込みできるよう、南あわじ市民プロジェクトでは、毎月、月末の平日3日間に市内4公民館に当選券付与を設置します。○ご家庭等で残っている食品・食材があれば、ぜひお持ちください。

**場所**  
広田地区公民館、浜地区公民館、南あわじ市中央公民館、福良地区公民館

**日付**  
受付時間: 6時~16時まで

9月	10月	11月	12月
16 17 18	21 22 23	22 23 24 25 26	20 21 22 23 24
27 28 29	30	30	30 31

※1月以降の日程は市庁舎前でお知らせします

お問い合わせ先  
社会福利法人 南あわじ市社会福祉協議会(南あわじ市庁舎1064番地)  
TEL: 0799-44-3007 FAX: 0799-44-3037  
MAIL: info@minamiawaji-shokyo.or.jp

お問い合わせ先  
社会福利法人 南あわじ市社会福祉協議会(南あわじ市庁舎1064番地)  
TEL: 0799-44-3007 FAX: 0799-44-3037  
MAIL: info@minamiawaji-shokyo.or.jp

フードドライブでは、こんな食品・食材を募集しています

- 残っているおもな食品・食材
  - ・卵(卵黄、三卵、アルブミン)
  - ・パスタ、そうめんなどの麺類
  - ・缶詰、インスタント食、フレッシュ食
  - ・味玉ソース、味噌、お味噌
  - ・油(油、油蔴など)
  - ・生野菜(生野菜、油蔴など)
- 残していいおもな食品・食材
  - ・調理済み(カットされている野菜、調理済みでない野菜)
  - ・お惣菜、豆類、穀類、穀物などの穀類
  - ・油(油蔴)
  - ・残していいものの
  - ・生野菜(生野菜、油蔴)
  - ・アーモンド(アーモンド、アーモンド)

※食品・食材を必要とされている方へ

**食でつなぐ！南あわじの輪！架け橋パントリープロジェクト**

本当に不便を感じられている方に、市民の皆様からご提供いただいた食品・食材をお渡しし実施するとともに、食品・食材が必要な方へ届けるようプロジェクトを実施しています。また、食材回収担当者とあわせて、なんでも相談できる窓口を設置し、不便や悩みについての相談も受け付けています。

**● 食品・食材を必要とされている方へのお渡し方法**

- ① 南住の(年間3回程度)に食料難民配布会を開催しています。
- ② フードバンク実施会を通じて、主に市内の福祉施設等へお渡ししています。
- ③ 状況をお聞きし必要な方に向けて、随時お渡ししています。

**● 食材提供についてお聞きしたい方は、下記までお問合せください**

【問い合わせ先】  
社会福利法人 南あわじ市社会福祉協議会(南あわじ市庁舎1064番地)  
TEL: 0799-44-3007 FAX: 0799-44-3037  
MAIL: info@minamiawaji-shokyo.or.jp

**ご提供いただいた食品・食材の流れ**

フードドライブの様子 → 多くの食品が集まりました → 南あわじ市内の必要な方に届けてお渡しました。  
ありがとうございます。



【架け橋パントリーのチラシとみんなの食堂のようす】

## 活動項目②-3 介護保険・障がい福祉サービスの充実

### (1) 介護保険サービスの充実【介護報酬・事業収入】

第3次計画到達点・地域で暮らす一人の生活者という視点で利用者をとらえ、その人らしく生きられるように支援することを目指します。個別の課題から、地域の課題を抽出し、関係機関と連携しながら、必要な地域資源の拡充にも貢献していきます。

#### ■居宅介護支援事業

【総括】①今年度の実績は、前年度に比べ減少しています。これはケアマネジャーの配置人数が4名から3.3名となったことでケースの減少によるものです。前年度と比較し、要介護者の支援割合が約3%増加しました。また、1人当たりの件数は36件を目標に運営し、年間平均35.4人でした。②昨年度までは、コロナ禍による収益への影響はほとんどありませんでしたが、令和4年1月から3月にかけて、介護保険事業所でコロナ陽性者が出了ことによる事業所の休止があり、ケースの担当は継続していても、サービス利用実績がない為に実績として上がらず、収益に影響することが起きました。事業所がコロナ感染者の発生により休止し、事業再開に約1ヶ月も要するのは想定外のことです、代替サービス調整などを行うのに時間を要するケースもありました。この経験から、有事の際には、利用者、家族のニーズに沿って代替サービスなどの提案ができるようにしなければならないことを事業所内で再確認しました。

③週1回の定期ミーティングでは、担当ケースの共有・相談、研修の実施の他、使用している様式の見直しや請求事務の見直し等の業務内容の改善を図り、各ケアマネジャーの資質の向上だけでなく、効率的で働きやすい職場環境づくりに努めました。

《ケアプラン作成件数》

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比
利用者数		164	164	164	165	159	161	156	156	154	154	153	155	1,905 (2,106名)	90.5%
要介護度別利用者内訳	支援1	42	42	41	42	41	38	34	33	31	31	29	29	433 (516名)	83.9%
	支援2	32	32	31	33	32	35	35	34	38	36	38	38	414 (467名)	88.7%
	1	48	48	47	47	44	44	41	44	43	44	41	42	533 (617名)	86.4%
	2	18	19	20	19	18	22	22	23	23	24	26	27	261 (239名)	109.2%
	3	12	12	14	14	14	12	14	14	12	12	12	12	154 (128名)	120.3%
	4	8	8	8	7	7	6	6	6	5	5	6	6	78 (69名)	120.0%
	5	4	3	3	3	3	4	4	2	2	2	1	1	32 (54名)	59.3%

※合計欄下段( )中の数字は、前年度のもの

《新規契約件数》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
総合事業	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
介護予防	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	4
介護	5	2	2	3	2	3	4	0	0	1	1	4	27

《解約件数》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
総合事業	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
介護予防	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
介護	1	0	0	2	4	5	0	1	1	0	1	0	15

《要介護認定調査件数》

※合計欄( )中の数字は、前年同時期のもの

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
調査数	0	3	3	2	3	4	1	3	3	3	2	2	29 (19)



### ■訪問介護事業

【サービス概要】要介護・要支援の認定を受けている方を対象に、ホームヘルパーが自宅を訪問して、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談や助言など、生活全般にわたる援助を行っています。

【総括】今年度新規15名(前年度18名)、解約20名(前年度15名)の動きがありました。(新規依頼経由の内訳:社協8名、包括3名、他の事業所4名。解約の内訳:他界10名、長期入院3名、老健入所2名、その他5名。)入院者は32名(うち、7名が他界)あり、令和4年3月31日現在で入院中の方は3名です。利用実人数の減少が続いているおり、その背景には入院した利用者が多かったことがあります。職員が持病により入院または加療で訪問業務に従事できない時期があり、職員の公休等の確保とのバランスから、新規利用者の獲得を積極的に出来なかつたことが要因です。また、社協のヘルパーを長年利用して頂いた方の解約が8名あったことも影響としています。サービスの利用状況では、身体介護の依頼が年々増加傾向にあります。今後もチーム力・介護技術の向上を図り、選んでもらえる事業所になれるよう努めています。

### 【課題】

- ① 働き方改革の制度とのバランスを図りながらの収入増加
- ② コロナ禍においても定例会の定期開催
- ③ チームケア力の向上
- ④ 感染症・災害時の業務継続計画(BCP)の策定
- ⑤ タブレット端末を使用したICTの推進

《サービス別利用状況》

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（名）	対前年度比
利用者数	延人数	70	70	71	69	65	68	65	68	63	64	67	66	806 (854名)	94.3%
身体介護	延人数	243	307	327	253	222	203	210	213	205	204	220	252	2,859 (2,819名)	101.4%
身体介護+生活援助	延人数	149	88	93	98	97	95	99	85	77	75	80	76	1,112 (1,291名)	86.1%
生活援助	延人数	183	214	244	229	212	227	228	249	249	223	208	238	2,704 (2,760名)	97.9%
基準型	延人数	45	43	43	47	51	50	43	49	67	60	56	72	626 (639名)	97.9%
基準緩和型	延人数	142	150	135	133	133	119	124	138	125	128	129	132	1,588 (2,012名)	78.9%
計		762	802	842	760	715	694	704	734	723	690	693	770	8,889	-

※合計欄下段（ ）中の数字は、前年度のもの

《要支援・要介護度別利用状況》

月区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（名）
要支援1	17	14	14	14	15	14	14	14	12	13	11	11	163
要支援2	15	16	15	14	13	15	14	16	16	17	20	20	191
要介護1	19	21	22	22	18	20	18	17	17	15	16	16	221
要介護2	8	8	8	8	8	8	9	11	9	10	12	11	110
要介護3	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	4	4	61
要介護4	3	4	4	4	5	5	4	4	3	3	3	3	45
要介護5	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
計	70	70	71	69	65	68	65	68	63	64	67	66	806

《地域別契約状況》

緑	10	件
西淡	15	件
三原	20	件
南淡	21	件
計	66	件

《居宅別依頼状況》（令和4年3月31日現在）

南あわじ市社会福祉協議会	42	件	F (三原)	1	件
A (緑)	2	件	I (南淡)	1	件
B (緑)	5	件	南あわじ市地域包括支援センター	3	件
C (三原)	2	件			件
D (三原)	1	件			件
E (三原)	9	件	計	66	件



## (2) 障がい福祉サービスの充実【介護報酬・事業収入】

第3次計画到達点…質の高いサービスを提供できる体制が整うことで、利用者の思いに寄り添った支援を展開していきます。また、地域で暮らす人として普段から住民と地域、関係機関が一緒にあって見守り、助け合えるまちづくりをすすめていきます。あわせて、当事者が「助けて」と言える、孤立する人がないまちづくりを目指します。

### ■障害者居宅介護事業

【サービス概要】障がいのある方の地域での生活を支えるために、ホームヘルパーが自宅を訪問して、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談や助言など、生活全般にわたる援助を行っています。

【総括】令和3年度は、新規4名(前年度6名)、解約0名(前年度3名)の動きがありました。年々契約数が増加しており、収入が増加傾向にあります。職員の状況は居宅介護事業においても同様ですが、障がい福祉サービスにおいては入院等による変動が少ないため、安定した実績となっています。居宅生活支援事業(移動支援)の定期利用は前年度と同様で2名ですが、随時利用を希望される方が數名います。障害のある人が地域で自立した生活を送ることができるように、ニーズに対応できる体制作りに努めています。

※課題については、訪問介護事業(介護保険)と同様。

### 《サービス別利用状況》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)	対前年度比
利用者数	33	34	35	35	35	35	35	36	36	36	36	37	423 (389)	108.7%
身体介護 延人数	202	203	211	210	208	202	210	208	219	210	216	254	2,553 (2416)	105.6%
家事援助 延人数	335	319	349	347	330	335	329	322	320	298	286	316	3,886 (3,390)	114.6%
通院介助 (身体あり) 延人数	6	4	7	4	7	6	6	4	6	5	6	7	68 (33)	206.0%
通院介助 (身体なし) 延人数	3	2	3	2	2	4	2	3	3	2	1	4	31 (39)	79.4%

※合計欄下段( )中の数字は前年度のもの

《障がい支援区分別利用状況》

月区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)
区分2	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
区分3	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	15	162
区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
区分6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	35	35	35	35	35	35	35	36	36	36	36	37	426

《地域別契約状況》

緑	3	件
西淡	7	件
三原	14	件
南淡	13	件
計	37	件

《相談支援事業所別依頼状況》（令和4年3月31日現在）

南あわじ市社会福祉協議会	29	件
A (三原)	2	件
B (三原)	2	件
C (洲本)	3	件
D (洲本)	1	件
計	37	件

■居宅生活支援事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(名)	対前年度比
利用者数	5	2	4	3	3	3	4	3	5	2	2	1	37 (20)	185.0%
移動支援延人数	20	14	19	17	13	16	21	16	22	15	13	17	203 (186)	-
通所・通学支援延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (1)	-

※合計欄下段( )中の数字は前年度のもの

■計画相談支援・障害児相談支援【事業収入(相談支援給付費)】

《計画相談》

障害福祉サービスの利用を希望している方を対象に、相談支援を行っています。利用者によってモニタリング期間が違っているために、月ごとの件数にはばらつきがあります。サービスを希望するものの、利用に至らなかつたり、続けられなかつたりすることもあるため、サービスにつなげるだけでなく、個別性を重視したケアマネジメントが求められます。

8月から主任相談支援専門員を配置したことにより、事業所内においても、スーパーバイズを受けることができるようになりました。また、2名が初任者研修を終えたことで、人員配置が整い機能強化型Ⅰを算定できる、圏域内でも中核を担う事業所になっています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計 (名)
利用者数	R3年度	52	58	51	47	58	57	63	61	52	58	64	51 672
	R2年度	53	51	60	55	62	54	55	62	54	54	62	53 675

### 《児童相談》

発達に心配のあるお子さんの相談支援を行っています。手帳を持っていない未診断のお子さんのケースや、親子ともに支援が必要なケースがあります。お子さんのライフステージに応じた支援機関につなぎ、連携をとりながら支援をすすめています。

就学や進学についての相談の機会が多く、例年に比べると早い時期から保護者の方が情報収集を行い、相談につながることが多くなっています。

特に年明けからは、就園、就学、進級に伴う相談が多く見られました。

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計（名）
利用者数	R3年度	37	25	28	36	30	36	35	37	37	30	34	48	413
	R2年度	37	36	43	44	38	26	32	31	32	29	28	34	410

### ■地域定着支援【事業収入(地域定着支援サービス費)】

24時間365日住み慣れた地域でその人らしく生活できるように、日常生活全般を支援しています。居宅で単身で生活する障がい者が対象となります。現在、契約中のケースはありません。

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計（名）
利用者数	R3年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	R2年度	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### ■生活介護（なでしこデイサービスセンター）

#### 【サービス概要】

常時介護等を必要とする障がい者を対象に、食事・入浴・排泄等の介護やレクリエーション、日常生活上の支援を提供しています。

【総括】今年度は、県立あわじ特別支援学校を卒業した1名を新規で受け入れた一方、家族による介護が難しくなったことで入院し、利用終了した方が1名いました。新型コロナウイルス関連による臨時休所が4日ありましたが、年間稼働率は前年度とほぼ同じで、目標は達成することができました。

しかし、令和3年4月の報酬改定で区分6が▲3単位、区分5が▲5単位、区分4が▲18単位のマイナス改定となったこと、1名の利用者の利用終了、1名の利用者が約2か月毎に約1ヶ月間のショートステイ利用、毎日利用している方1名が区分6から区分5になり、1日あたりの基本単価が▲324単位下がったことで、全体報酬が昨年度から▲5.1%の減収となりました。

令和3年10月、移乗用の介護リフトを導入しました。生活支援員の全員が女性であり、重度の利用の方の移乗を2名体制、利用者によっては4名体制で行う等で対応していましたが、介護リフト導入により、利用者にとっても職員にとっても安全な介護ができるようになりました。

運営を始めてから5年が経過したことを機に、利用者・家族へ満足度調査アンケートを実施しました。全員の方からアンケートを回収することができ、いずれの設問にも「満足」あるいは「ほぼ満足」と答えて頂いた方が80.2%でした。その中でも「やや不満」あるいは「不満」と答えた方がいる部分については、一層の改善や向上が求められるところであると気付かされました。今後は計画等の説明方法や職員の日頃の接遇、施設内の環境、活動メニューの開発など、改善可能な所から取り組んでいき、これからも職員一人一人が介護力向上と接遇向上に努めています。

#### 【課題】

- ① 外出(買い物・外食等)レクリエーションの実施
- ② かぞく会の開催
- ③ 満足度調査アンケート結果から得た課題等の改善
- ④ 苦情を含めた事故防止対策
- ⑤ 利用者間トラブル計画的な内部・外部研修による職員のスキルアップ

●登録状況

市別 利用者数	南あわじ市	洲本市	淡路市	計(名)	新規	1
男性	4	6	0	10	中止	0
女性	4	6	0	10	終了	1

●障害支援区分の状況

区分 利用者数	支援区分3	支援区分4	支援区分5	支援区分6	計(名)	平均支援区分
男性	0	2	1	7	10	5.5
女性	0	2	3	5	10	5.3

●月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開所した日数	22	19	22	21	17	21	21	20	20	20	20	23	246 (250)
実人数	22	20	21	21	18	20	21	20	20	20	18	20	20.08 (19.92)
延べ利用者数	209	173	207	202	148	190	194	198	192	155	173	204	2,245 (2,298)
今年度 稼働率 (%)	95.0	91.1	94.1	96.2	87.1	90.5	92.4	99.0	96.0	77.5	86.5	88.7	91.2%
前年度 稼働率 (%)	89.5	97.4	96.4	95.9	91.5	87.3	96.4	92.0	97.0	82.1	87.9	89.1	91.9%

※合計欄下段( )中の数字は前年度のもの

●曜日別利用登録数 1日定員10名

曜日 年度	月	火	水	木	金
令和3年度	10	11	9	9	11
令和2年度	10	11	10	10	10

●レクリエーション・行事

月	内 容	月	内 容
4月	お花見	10月	花の寄せ植え
5月	外出・おやつ作り・花の寄せ植え	11月	緑文化展出品
6月	工作(キーホルダー)	12月	クリスマス会
7月	おやつ作り・野菜の苗植え	1月	工作(干支)
8月	おやつ作り	2月	節分・おやつ作り
9月	ミニ夏祭り	3月	工作(センサリーボトル)

## ■児童(なでしこデイサービスセンター)

### 【児童発達支援・放課後等ディサービス全体総括】

今年度も、コロナ禍での利用控えや、本人・家族が陽性等の理由で利用中止になつたりなど、稼働率が▲0.9%、利用延べ人数が▲2.7%になるなどの影響がありました。しかし、令和3年4月の報酬改定で、児童発達支援の基本単価が55単位、心理職などの専門職を配置していることが評価され、専門的支援(新設)として187単位が加算された結果、児童発達支援は122.6%、放課後等ディサービスは122.9%の増収(前年度対比)となりました。

外部の集合型研修がほぼ中止になる中で、内部研修やケース検討、ZOOMによる研修受講など職員のスキルアップに努めました。また、職員の日々の研鑽が実を結び、公認心理師国家資格に2名が合格。来年度の報酬単価アップに結び付けることができました。

### 【児童発達支援・放課後等ディサービス全体課題】

①ICT導入モデル事業で購入したタブレットを活用し、コミュニケーションや生活、学習支援につなげます。

②コロナ禍でも実施できる家族支援の方法を検討し、年1回以上の開催を目指します。

③児童発達支援管理責任者の育成や職員のスキルアップを行います。

④職員がケースについて相談しやすい環境整備をします。

⑤市が実施する健診に心理士を派遣するなど、関係機関との連携に努めます。

⑥稼働率の向上に努めます。



### 【サービス概要】

未就学児童を対象として、児童指導員(公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士)が個別療育を行っています。

### 【総括】

コロナ感染拡大の影響が大きく、延べ利用者数は▲4.9%でした。また、3歳児健診などが延期や中止になったことも影響し、新規利用者が16件(前年度は22件)に留まっています。

新設された個別サポート加算(I)に認定された児童が22名(全体の47.8%)おり、より手厚い療育が求められるようになっています。

### 【課題】

共働きの世帯が増え、平日9時からや土曜日など、特定の曜日や時間帯を希望する利用者が増加しています。そのため、必要な療育回数を確保するためのスケジュール調整が難しくなっています。

### ●登録状況

(人)

市別 利用者数	南あわじ市	洲本市	淡路市	計
男児	18	18	1	37
女児	3	5	1	9

### ●月別利用状況 (※稼働率は、児童発達支援と放課後等ディサービスの両サービス合わせてのもの)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開所した日数	21	18	22	20	17	20	21	19	20	19	18	21	236 (241)
実人数	34	33	38	38	37	38	37	39	41	42	41	41	459 (458)
延べ利用者数	88	75	98	100	75	97	91	97	104	93	99	100	1,117 (1,174)
今年度 稼働率 (%)	78.2	73.5	81.8	87.7	78.2	83.2	83.3	89.5	91.5	86.0	85.0	86.4	83.8%
前年度 稼働率 (%)	70.5	81.1	76.7	75.7	89.5	83.9	82.6	94.0	95.5	87.1	92.0	90.5	84.7%

※合計欄下段( )中の数字は前年度のもの

●その他の活動状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業所見学	2	1	1	1	1	1	1	2	2	0	0	2	14 (26)
インテーク	7	1	2	1	0	0	2	1	1	3	0	1	19 (20)
保育所等訪問	0	0	3	3	1	2	2	3	1	2	1	0	18 (11)
個別支援会議	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	5 (3)
発達検査	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	6 (10)

※合計欄下段( )中の数字は前年度のもの

■放課後等デイサービス（なでしこデイサービスセンター）

【サービス概要】

小学生を対象として、児童指導員（公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士）が個別療育を行っています。

【総括】

新規利用者は1名（前年度5名）。島内に新規事業所が3か所開設され、放課後の居場所を求める児童は預かり型の事業所を利用する傾向にあります。また、作業療法や言語療法など、評価が明確な訓練を求めて医療機関の小児リハビリテーションを利用する児童も増えています。そのため、保護者に心理職による療育の必要性や評価を明確に説明できるスキルが求められるようになっています。

今年度も、小学校を卒業するため契約終了になった児童が16名いました。保護者からは、中学校入学後の継続利用を望む声も多く、思春期から青年期に向かう児童の心理面のフォローも気がかりです。

【課題】

社会性を身につける等、集団療育も必要な児童については、感染予防に努めながら、夏休み等に集団療育（小集団を含む）が実施できるようにします。

●登録状況

(人)

市別 利用者数	南あわじ市	洲本市	淡路市	計
男児	40	26	1	67
女児	14	5	1	20

●月別利用状況（※稼働率は、児童発達支援と放課後等デイサービスの両サービス合わせてのもの）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開所した日数	18	16	18	18	14	19	17	17	16	17	16	18	204 (207)
実人数	70	65	68	73	53	76	69	77	69	61	63	73	817 (874)

延べ利用者数	84	72	82	93	58	86	84	91	79	79	71	90		969 (970)
今年度 稼働率 (%)	78.2	73.5	81.8	87.7	78.2	83.2	83.3	89.5	91.5	86.0	85.0	86.4		83.8%
前年度 稼働率 (%)	70.5	81.1	76.7	75.7	89.5	83.9	82.6	94.0	95.5	87.1	92.0	90.5		84.7%

※合計欄下段( )中の数字は前年度のもの

### ●その他の活動状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業所見学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (3)
インテーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (8)
学校等訪問	0	0	2	1	0	0	1	1	4	0	1	0	10 (9)
個別支援会議	2	1	2	2	3	0	1	2	1	1	0	2	17 (9)
発達検査	1	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	7 (5)

※合計欄下段( )中の数字は前年度のもの



### 取り組み③ 誰もがつながりあえる人づくり・場づくりに取り組みます

#### 活動項目③-1 見守り・支え合いをすすめる人づくり

##### (1) 学校・地域での福祉学習の推進【補助金・善意銀行・共同募金その他】

第3次計画到達点…学校関係者を対象に福祉学習研修会を行い、福祉学習の内容を検証し、振り返りを行い、協同してプログラムづくりを行います。それを基に作成した学校向け福祉学習パンフレットを配布し、市内すべての学校での福祉学習の実施を目指します。福祉学習や福祉の出前講座を実施し、参加した人が自分の地域のことや、相手の気持ちを理解し、近隣の人の暮らしに目を向けることで、活動できる人を増やします。

##### ■福祉学習プログラム

赤い羽根共同募金配分金を講師派遣費用として活用することで、地域・学校での福祉学習の拡充に努めています。前年度に引き続き、福祉学習用貸し出し資材の消毒を徹底するなど新型コロナウイルス等の感染症対策を行い実施を進めています。体験学習メニューなど事前打ち合わせを学校側と十分に協議しながら、今年度は市内小学校11校、中学校4校での学習を行いました。

学校での学習の機会やメニューは増えていますが、地域からの要望は少ない現状からも今後は、地域での学習の機会を増やすよう、感染症対策を含めた地域向けメニューの周知に努めます。

##### 【学校での福祉学習プログラム】

月日	内 容	学校名
R3.7.7	聴覚障がいのある当事者のお話、手話体験	倭文小学校
R3.9.10	視覚障がいのある当事者のお話、白杖体験	松帆小学校
R3.9.14	視覚障がいのある当事者のお話、白杖体験	広田中学校
R3.9.15	高齢者疑似体験	南淡中学校
R3.9.21	視覚障がいのある当事者のお話、白杖体験	湊小学校
R3.9.21	車いす体験	広田中学校
R3.9.28	聴覚障がいのある当事者のお話、手話体験	湊小学校
R3.10.8	白杖体験・車いす体験・高齢者疑似体験(講話)	三原中学校
R3.10.28	車いす体験	榎列小学校
R3.10.28	車いす体験	志知小学校
R3.11.17	視覚障がいのある当事者のお話、白杖体験	榎列小学校
R3.11.24	視覚障がいのある当事者のお話、白杖体験	市小学校
R3.12.7	車いす体験	神代小学校
R3.12.10	聴覚障がいのある当事者のお話、手話体験	榎列小学校
R3.12.13	車いす体験	市小学校
R3.10.5	視覚障がいのある当事者のお話、白杖体験	倭文小学校
R3.10.18	高齢者疑似体験	倭文小学校
R3.11.9	車いす体験	北阿万小学校
R3.11.15	視覚障がいのある当事者のお話、白杖体験	北阿万小学校
R3.11.16	車いす体験	西淡中学校
R3.11.30	視覚障がいのある当事者のお話、白杖体験	西淡中学校
R3.12.7	聴覚障がいのある当事者のお話、手話体験	西淡中学校
R4.3.3	災害ボランティアセンターについて	福良小学校
R4.3.8	白杖体験・車いす体験	福良小学校



【今年度もほぼ計画どおり福祉学習をすすめました】

■福祉資材の貸出と整備

地域や学校での福祉学習や地域活動用の福祉資材の整備と貸し出しを行いました。

資材名	数量	貸出数	貸出先
車いす	20	197	個人、学校、選挙管理委員会、企業
アイマスク	50	312	学校、企業
白杖	20	267	学校、企業
高齢者疑似体験装具	6	28	学校、企業、社協
点字盤	50	51	学校
み～あ着ぐるみ	1	0	
テント	6	10	イベント
ワイヤレスマイク	1	0	
音響セット	1	0	
プロジェクター	2	3	公民館、NPO法人
スクリーン	2	0	
DVDデッキ	1	0	
輪投げ	2	4	公民館、NPO法人、サロン
室内グラウンドゴルフゲーム	1	2	NPO法人、サロン
コミュニケーション麻雀	2	1	サロン
綿菓子機	1	1	福祉事業所
ポップコーン機	1	2	老人クラブ、福祉事業所
かき氷機	1	1	福祉事業所
bingoゲーム機	1	1	老人クラブ、サロン
的あてゲーム	1	0	
かき氷機	1	1	
その他 (ジャンボトランプ、松葉杖)	-	5	公民館、NPO法人

## ■ふくしの出前講座

各地区で展開しているサロンや集いに、講座を手法とし職員が参加しました。地域情報の把握を行い、地区カルテに記入していくことができました。

講座メニュー	具体的な内容・成果・課題	回数
レクリエーション	各地区で開催されているふれあい・いきいきサロンにて、工作や体操等の指導をしました。	19
防災（支え合い）マップづくり	マップ作りなどを通して地域の防災意識の向上に努めました。	1
講習その他	サロンで人権ビデオ等を活用し、人権意識や健康意識の向上につなげました。	8

## (2) ボランティアの育成と支援【補助金・善意銀行・共同募金その他】

第3次計画到達点…福祉学習などで芽生えた「気づき」を活動に変えていけるよう、ボランティア活動の事例発表などを通したボランティア養成講座や研修会を実施することで、活動者を発掘し、増やすことを目指しています。また、ボランティアセンターを運営し、懇談会や交流会の実施や、ボランティア保険の推奨、助成金などの情報が気軽に入手できるよう広報誌やホームページなどでPRすることで、安心、継続した活動ができるよう環境を整えます。

### ■ふくしの出前講座（再掲につき省略）

### ■ボランティア養成講座

度重なる緊急事態宣言発令のため、今年度はボランティア養成講座を開催できませんでした。

今後、新しい生活様式に対応したボランティア活動の開発、発掘が求められます。地域のニーズを把握しながら新しいボランティア活動についても検討をしていきます。

### ■ボランティア相談受付

ボランティア相談の内容としては、活動再開に向けての相談や、新たな活動を始めるにあたっての相談が多くありました。長引くコロナ禍でも、『こんなときだからできること』を模索しながら、新たなボランティア活動者の発掘や活動支援をしていきます。

対象	件数	対象	件数
一般住民	22 件	社会福祉協議会	0 件
市民活動団体	2 件	ボランティア団体	20 件
施設・病院	0 件	学校教育団体	2 件
行政機関	1 件	その他	3 件



【手芸や園芸はコロナ禍でもできる活動です】

## ■ボランティアニーズ受付

今年度は福祉施設等がボランティアの受入を休止しており、ニーズ・活動者ともに減少しています。「縫野得枝さん・編方長子さんプロジェクト」には多くのボランティアが活動し、多くの作品が届きました。市内の活動も徐々に戻っていますが、まだまだ活動先が限定されています。今後はニーズの把握に力を入れていきます。

(依頼者)

対象	件数	対象	件数
一般住民	8 件	社会福祉協議会	16 件
市民活動団体	0 件	ボランティア団体	1 件
施設・病院	0 件	学校教育団体	3 件
行政機関	1 件	その他	1 件

(活動内容)

対象	コーディネート 件数	活動者数
施設	高齢者	0 件 0人
	障がい者・児	0 件 0人
	子ども	19 件 0人
	その他	3 件 1人
高齢者に関する活動	6 件	7人
障がい者・児に関する活動	24 件	9人
子どもに関する活動	23 件	19人
環境保全に関する活動	3 件	1人
災害救援活動	0 件	0人
文化、芸術、スポーツの振興を図る活動	0 件	0人
地域のイベントなど	41 件	20人
その他（縫野得枝さん・編方長子さんプロジェクト、外国人に関する活	51 件	56人

## ■ボランティア保険の加入

ボランティア活動中の事故に備え、安心して活動が行えるよう「ボランティア・市民活動災害共済」等の加入促進を図りました。

種 別	人(件) 数	掛金(円)
兵庫県ボランティア・市民活動災害共済	717 人	358,500円
兵庫県ボランティア活動等行事用保険	0 件	0円
兵庫県移送サービス交通傷害保険	10 名	5,540円

■福祉学習ハンドブックの配布

種別	校数	配布冊数
小学校	15校	メールにて配信
中学校	6校	メールにて配信



■ボランティアセンターだより・生活支援コーディネーターだよりの発行

発行回数	12回（毎月）
発行部数	6,000 部



■広報わかばの発行【会費・共同募金配分金・事業収入】

発行回数	4 回
発行部数	64,000 部

※新聞折込による。沼島地区は、出張所を通じて配布。

【年4回発行の広報わかば】

■幸★彩 展覧会～身近な身近な展覧会～

今年度から社協事務所玄関前のスペースを活用して、身近な展覧会「幸★彩展覧会」を行っています。

これは、生活支援コーディネーターが地域を訪問する中で、住民のみなさんが「それぞれの思いを込めた作品」がたくさんあることを知り、多くの方に見ていただきたいと企画したものです。また、社協に訪問する方の多くは何らかの心配ごとを抱えていることが多いことから、そうした方々の「こころの癒し」になればと考えました。なお、作品は、手芸品や川柳から本格的な絵画まで、さまざまなジャンルのものを月替わりで展示しています。



【素敵な作品の数々。社協の玄関をしあわせ色に彩ってくれています】

## ■ボランティア登録状況

地区 活動種別	みどり	せいだん	みはら	なんだん	市外	合計	個人
福祉施設訪問や福祉施設内での活動・行事のお手伝い	0 (0)	3 (13)	8 (74)	9 (122)	0 (0)	20 (209)	
地域の高齢者や障がい者を支援する活動	5 (62)	1 (27)	4 (55)	4 (22)	0 (0)	14 (166)	
子どもや青少年の健全育成のための活動	1 (18)	3 (23)	3 (21)	2 (46)	1 (7)	10 (115)	
地域の行事やお手伝い	1 (42)	6 (260)	2 (33)	1 (79)	0 (0)	10 (414)	
自然や環境保護の活動	1 (49)	11 (115)	4 (45)	6 (189)	0 (0)	22 (398)	
その他の活動	1 (50)	1 (16)	1 (30)	1 (10)	1 (27)	5 (133)	

55

上段数字は、グループ・団体数。下段の（ ）中数字は、登録人数。

## 活動項目③-2 気軽に集える場づくり

### (1) 住民同士が気軽に集える場の推進【受託金・補助金、共同募金】

第3次計画到達点…家族や地域のつながりの希薄化・閉じこもり予防などは公的なサービスだけでは防ぐことができません。お互いを気にかける見守りのように身近なところでのゆるやかな関わりが大切だと考えます。身近な集いの場を増やしていくことで、お互いを気にかける地域づくりを目指します。

## ■地域のつどいの場の把握

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	今年度も、新型コロナウイルス感染拡大により集いの場やサロンを開催することが難しい状況が続きました。そうしたなか、コロナ禍で集いの場を開催するうえでのポイントを記したチラシをサロンの代表者に送付したり、電話による対応を行いました。また、老人クラブの会にサロンの説明に伺ったり、集うことの意味や大切さを伝えています。  こうした状況下で活動を停止したサロンがある一方、新規サロンも立ち上がりました。今後も感染症対策を行ったうえでの集いの場の開催となります。集うことによる心や体力保持への好影響や災害時にも対応できる大きな地域力にもなりうることを再認識することを伝え、啓発していきます。また、年度末にはサロン代表者にアンケートによる実態調査を行いましたが、コロナ禍でも「つながりを途切れさせない」アイデアあふれる取り組みを把握することができました。次年度もこうした地域にある何気ない「集まり」を把握し、その価値を発信していきます。
---------------------------	--

## ■ふれあい・いきいきサロン (P2~6再掲につき省略)

## ■ 支部まつり

毎年、各地区で住民同士のつながりの輪を広げることを目的に「福祉まつり」等を実施してきました。各支部にて協議を重ねた結果、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から前年度に引き続き、中止しました。

## (2) 当事者同士がつながり合える場づくり【補助金その他】

第3次計画到達点・同じ悩みや思いを抱えた方がつながり合える当事者の集いの場が、定期的に開催されることで「助けて」と言える地域づくりを目指します。また、当事者や家族の思いを地域や行政に伝えていくことで、誰もが住みよいまちづくりにつなげていきます。

### ■ つながりサロン

新型コロナウイルスの影響により、今年度は活動を休止しました。当事者が交流できる場として、定期的に開催していくことの大切さを実感しています。参加者の意見を聞きながら、次年度に向けて内容を決めていきます。

### ■ スポーツ交流教室

感染症拡大防止の観点から上半期は活動を中止としました。障がいのある当事者の方からも「またみんなでスポーツをしたい」との声もいただいています。コロナ禍でも取り組めるプログラムの検討をすすめています。

月日	内容	参加者数	場所
R4.3.12	南あわじ市卓球バレー交流大会	5	南あわじ市文化体育館

### ■ くらす連絡会

感染症拡大防止の観点から上半期は活動を中止としました。下半期は例年参加していた市総合防災訓練への参加し、あわせて意見交換を行いました。今後は、行政や市障害者計画、各団体への働きかけをしていきます。

月日	内容	参加者数	場所
R3.11.21	総合防災訓練に参加 防災について話す会	13	神代小学校 神代地区公民館

### ■ 視覚障がい者パソコン教室

視覚障がい者が、パソコン操作やインターネット等を学ぶことで、情報を自ら得て新たな友達とつながることや、当事者が地域で自分らしく暮らすことができるようになることを目指して実施しています。コロナの感染状況に合わせての実施となつたため、回数は少なくなりましたが参加者の意向に沿った内容で実施することができました。

月日	内容	参加者数	場所
R3.4.10	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
R3.5.8	//		
R3.6.19	//		
R3.7.10	CDへの録音について	6	中央公民館
R3.8.14	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
R3.9.11	//		
R3.10.16	音声パソコンの使い方について	4	中央公民館
R3.11.13	//	8	中央公民館
R3.12.11	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
R4.1.22	//		
R4.2.19	//		
R4.3.19	//		

## ■よか（余暇）サークル “あつまらんか！”

保護者や兄弟姉妹同士のつながりづくりに焦点を当てて毎年実施しています。この企画には高校生や大学生のボランティアにもご協力をいただきしております、障がいのある子どもたちと高校生や大学生のボランティアが交流する機会にもなっています。そして交流を通して相手の立場になって考えたり、他人を思いやる優しさを育む場となっています。

例年、事業の中で保護者は子どもたちの様子を見ながら、保護者同士で日頃の生活や進路等について語り合う情報交換の場にもなっています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、屋内での計画は取りやめ、南淡B&G海洋センターでのマリンスポーツのみを計画し準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大によりやむなく中止としました。

月日	内容	参加者数	場所
R3.8.17	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		



【よかさーくる:写真は一昨年のものです】

## 重点目標B 「活動をすすめるための組織基盤づくり」

### 取り組み① 経営組織強化

#### (1) 事務局体制の整備【会費・事業収入その他】

第3次計画到達点…「法人運営部(仮称)」を設置し、人事管理と人事考課など、事業の見直しを通して効率的で自立した組織運営が行えるような体制を目指します。また、個別の相談支援から制度改正や社会情勢の変化など、様々な状況に対応できる総合的な事務局体制を整備します。

##### ■事務局体制の再編

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	今年度は、組織体制の大幅な見直しを行い、体制の再編と職場環境の整備を行いました。それによって会議のあり方も見直し、今まで以上に多職種による協働が図られるよう「オール社協会議」をエリア毎に毎週開催しています。年度初めは日常業務の指示命令系統が曖昧な部分があったため職員が戸惑う場面がありましたが、徐々に改善しました。 地域共生社会を実現するうえにおいて、地域福祉推進の中核となる社協への期待は年々高まっています。その期待に応えられるための職員の適正な配置とバランスのとれた事務分掌について検討しています。
----------------------------	--

##### ■目標管理シートの作成（新規）

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	職員育成とモチベーション向上を目的に昨年度から取り組んでいます。 職員個々に目標を立案し上席と面談しました。部内・所内での共通目標を確認できたほか、職員の自己覚知にもつながっています。
----------------------------	---

#### (2) 理事会・監事会・評議員会の機能強化【会費・事業収入その他】

第3次計画到達点…理事会、監事会、評議員会がその役割と機能を果たせるような組織体制をつくり、社協が地域福祉の推進を担える組織体制を整えます。

##### ■理事監事会( )内数字は、監事の出席人数。

月日	内容	出席者数	場所
R3.5.7	新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言下のため中止	—	南あわじ市社協203会議室
R3.6.15	【報告事項】 ①令和2年度一般会計収支予算第3次補正について 【審議事項】 ①令和2年度事業報告について ②令和2年度一般会計収支決算について ③監事監査結果について ④定時評議員会の日程及び審議事項について 【協議事項】 ①理事、評議員、選任・解任委員の候補者について	11/15 (2)	南あわじ市社協203会議室
R3.6.29	【報告事項】 ①役員選任の結果報告(6/29定時評議員会) 【協議事項】 ①会長・副会長の選定について(定款第18条第2項) ②評議員の選出について	14/15 (2)	南あわじ市社協203会議室

R3.7.30	<p><b>【報告事項】</b></p> <p>①第1四半期活動について</p> <p><b>【意見交換】</b></p> <p>①地域福祉に関するアンケート調査結果について ・結果に対する感想　・次期計画の重点的課題</p>	14/15 (2)	南あわじ市社協 203会議室
R3.9.8	新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言下のため中止	—	南あわじ市社協 203会議室
R3.12.8	<p><b>【審議事項】</b></p> <p>①令和3年度上半期事業報告について ②令和3年度上半期一般会計収支決算報告について ③監事監査結果報告について ④令和3年度第1次補正予算について ⑤評議員会の日程及び審議事項について ⑥就業規則の改定について</p> <p><b>【協議事項】</b></p> <p>評議員候補者について</p>	14/15 (2)	南あわじ市社協 203会議室
R4.1.17	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	南あわじ市社協 203会議室
R4.3.17	<p><b>【審議事項】</b></p> <p>①令和3年度第2次補正予算案について ②令和4年度事業計画案について ③令和4年度一般会計収支予算案について ④評議員会の日程及び審議事項について ⑤給与規程の改定について ⑥訪問介護事業所運営規程の変更について ⑦善意銀行設置規程について</p>	13/15 (2)	南あわじ市社協 203会議室



【理事監事会。コロナ禍のなか5回開催しました】

■監事監査

月日	内容	場所
R3.5.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和2年度に整備したインターネット環境をより活用できるよう、職員の知識習得や研修の機会確保に努めること</li> <li>●多くの地域活動が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた。なかでもふれあい・いきいきサロンについては、活動が止まっているサロンリーダーへの適切なアドバイスを行うとともに「地域でのつながり」が途切れないと努めること。</li> <li>●地域づくり協議会へ積極的に参画し、市民交流センターエリアでのネットワークづくりを進めること。</li> <li>●生活支援体制整備事業の推進は非常に重要である。目標を明確にして計画的に活動を展開すること。</li> <li>●相談内容については、ある程度数値化グラフ化されたので、今後はそれらの分析を進めると同時に明確になった課題の解決に向けた取り組みを実践すること。</li> <li>●特例貸付については、償還管理・償還免除など事務の多くは県社協が担うことになるが、市社協が住民に身近な相談窓口として果たす役割は大きいと考えられるため、今後も窓口の体制と機能の強化に努めること。</li> <li>●福祉・介護職の早期ワクチン接種など、ネットワークを生かした情報の把握と提言に努めること。</li> </ul>	南あわじ市社協 203会議室
R3.11.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、さまざまな制限のなかで事業を推進してきたことは評価できる。推進の要である職員の資質向上のため、積極的に研修に参加できる職場環境づくりに努めること。</li> <li>●コロナ禍に限らず、新しい活動を行う場合にはその目的・趣旨を明確にすること。とりわけ、市民ボランティアや関係団体に協力を求める場合は、「わかりやすく、賛同が得られるよう」努めること。</li> <li>●特例貸付については再度延長となったが、それら情報を正しく住民に届けられるよう努めること。また、法人の活動や資産状況の透明性を担保するため、これまで同様ホームページ等で情報公表に努めること。</li> <li>●職員昇給や退職手当制度の整理は、早急に取り組むべき課題である。識者の知見を活用するなど、職員がモチベーションを維持し職務に励むための環境整備に努めること。</li> </ul>	南あわじ市社協 203会議室

■評議員会 ( ) の数字は役員の出席人数。【 】内数字は、オブザーバーの出席人数。

月日	内容	出席者数	場所
R3.6.29	<p>【報告事項】</p> <p>①令和2年度一般会計収支予算第3次補正について</p> <p>【審議事項】</p> <p>①令和2年度事業報告について</p> <p>②令和2年度一般会計収支決算について</p> <p>③監事監査結果について</p> <p>④役員の選任について</p>	20/30 (2)	南あわじ市社協 203会議室

R4.1.13	<p><b>【報告事項】</b>            ①第4次地域福祉推進計画の策定について  <b>【審議事項】</b>            ①令和3年度上半期事業報告について            ②令和3年度上半期一般会計収支決算報告について            ③監事監査結果報告について            ④令和3年度第1次補正予算について</p>	23/29 (2)	南あわじ市社協 203会議室
R4.3.30	<p><b>【審議事項】</b>            ①令和3年度第2次補正予算案について            ②令和4年度事業計画案について            ③令和4年度一般会計収支予算案について</p>	24/29 (2)	南あわじ市社 協 203会議室



#### 【評議員会のようす】

##### ■評議員選任・解任委員会

月日	内容	出席者数	場所
R3.7.9	<p><b>【報告事項】</b>評議員の解任について  <b>【協議事項】</b>評議員の選任について</p>	5/5	南あわじ市社協 203会議室
R3.12.15	<p><b>【報告事項】</b>評議員の解任について  <b>【協議事項】</b>評議員の選任について</p>	5/5	書面開催

■支部長会議

日付	内容	出席者数	場所
R3.5.7	①支部運営委員会の情報共有 ②第69回兵庫県社会福祉大会について	4/4	南あわじ市社協 203会議室
R3.6.15	①支部運営委員会の情報共有 ②コロナ禍における委員会の開催について	4/4	南あわじ市社協 202会議室
R3.9.8	①支部運営委員会の情報共有 ②第69回兵庫県社会福祉大会について ③今年度の支部まつりについて	4/4	南あわじ市社協 203会議室
R3.12.8	①支部運営委員会の情報共有 ②善意銀行の払い出しについて	4/4	南あわじ市社協 203会議室
R4.1.17	①支部運営委員会の情報共有 ②コロナ禍における支部活動のあり方について	4/4	南あわじ市社協 203会議室
R4.3.17	①支部運営委員会の情報共有 ②令和4年度の活動に向けて	4/4	南あわじ市社協 203会議室

■支部運営委員会 (P9~10再掲につき省略)

(3) 財政基盤の強化【会費・事業収入その他】

第3次計画到達点・自主財源の確保など、継続的・安定的な財務運営に取り組み、安心して地域福祉を推進していくようにします。また、善意銀行の使途が検討できる場を持ち、住民の善意を有効に活用できるようにします。

■会員(一般・賛助・特別)の拡大

《一般会費》

地区	金額(円)	件数	市	408,500	817
広田	470,500	941	神代	348,000	696
倭文	200,500	401	倭文	62,000	124
松帆	464,000	928	志知	71,000	142
湊	300,000	600	福良	621,500	1,243
津井	178,000	356	賀集	452,500	905
阿那賀	218,500	437	北阿万	262,000	524
伊加利	61,500	123	潮美台	215,000	430
志知	102,000	204	阿万	443,500	887
榎列	402,000	804	灘	106,500	213
八木	414,500	829	沼島	69,000	138
計				5,871,000	11,742

《賛助・特別会費》

地区	金額(円)	件数
みどり	231,500	99
せいたん	0	0
みはら	0	0
なんだん	27,000	2
計	258,500	101



■共同募金運動への協力

広域目標額	地域目標額	期間拡大目標額	地域歳末目標額	実績額
883,000	7,687,000	60,000	1,122,000	9,787,078



【募金内訳】

募金方法	実績額(円)	件数
一般募金	8,630,976	13,116
戸別募金	6,140,493	戸数 12,082 戸
街頭募金	31,742	回数 7 回
法人募金	1,996,964	件数 684 件
学校募金	200,818	学校数 39 件
職域募金	146,163	職域数 240 件
個人募金	20,748	個人数 4 件
その他募金	94,048	件数 60 件
歳末たすけあい募金	1,156,102	11,745
戸別募金	1,040,500	戸数 11,741 戸
職域募金	115,600	職域数 3 件
その他募金	2	件数 1 件

※期間中に受入した募金のみ記載

【戸別募金(一般募金・歳末募金)】

地区	金額(円)	件数	市	485,400	765
広田	640,113	917	神代	390,300	674
倭文	258,350	380	倭文	56,500	124
松帆	491,980	837	三原志知	125,300	179
湊	409,500	585	福良	688,450	1,849
津井	184,600	356	賀集	633,500	905
阿那賀	252,000	444	北阿万	366,800	524
伊加利	75,400	122	潮美台	231,000	430
西淡志知	119,400	221	阿万	523,800	873
榎列	445,100	797	灘	149,000	213
八木	557,900	817	沼島	96,600	138

■共同募金配分金の活用（配分結果）

事業分類		件数	金額（円）	備考
高齢者	日常生活支援	2	125,000	高齢者友愛訪問、声かけ運動等
	社会参加・まちづくり支援	5	808,524	世代間交流、座談会、ふれあい・いきいきサロンなど
	社会福祉施設支援	0	0	
	その他の地域福祉支援	0	0	
	災害対応・防災	0	0	
	小計	7	933,524	
障害児・者	日常生活支援	0	0	障がい者生活支援事業(友愛訪問)など
	社会参加・まちづくり支援	5	381,930	社会参加事業、体験教室、視察研修など
	社会福祉施設支援	3	134,348	生活支援事業
	その他の地域福祉支援	0	0	
	災害対応・防災	0	0	
	小計	8	516,278	
児童・青少年	日常生活支援	0	0	
	社会参加・まちづくり支援	4	128,000	交流会(屋外)、日帰り遠足、野外活動など
	社会福祉施設支援	2	260,000	備品購入など
	その他の地域福祉支援	2	145,000	子育て支援活動、野外体験事業
	災害対応・防災	0	0	
	小計	8	533,000	
住民その他	日常生活支援	0	0	
	社会参加・まちづくり支援	2	170,000	地域にぎわい事業、先進地視察
	社会福祉施設支援	0	0	
	その他の地域福祉支援	22	5,845,751	地区社協活動、研修会、ボランティア育成、福祉学習、社協広報など
	災害対応・防災	0	0	
	小計	24	6,015,751	
合 計		47	7,998,553	

■善意銀行（寄附金）の募集

(ア) 金銭預託

No.	月 日	地 区	預 託 者	預 託 内 容
1	4月20日	榎列	清水 英二	亡父の供養として
2	7月27日	賀集	山田 哲也	亡弟の供養として
3	8月2日	阿万	阿万中学校第五回生一同	解散するにあたり地域福祉のため
4	9月15日	榎列	中川 幸美	亡夫の供養として
5	9月27日	市	市小学校昭和24年卒業同窓会	地域福祉のため
6	10月7日	八木	細川 はるみ	地域福祉のため
7	11月9日	阿万	伝統文化子ども教室	子どもの健全育成のため
8	12月28日	洲本市	真言宗青年教師会	地域福祉のため
9	2月7日	阿万	高野山金剛講阿万支部	塞行淨財として

10	2月14日	八木	川原 純子	亡夫の供養として
11	2月17日	八木	山口 耕司	亡父の供養として
12	3月24日	倭文	倭文中学校	地域福祉のため
13	3月28日	倭文	二・二会	地域福祉のため

※上記以外に「匿名」での金銭預託が11件ありました。

#### (イ) 物品預託

品 名	上半期(件数)	下半期(件数)
ペットボトルのふた	42	0
プルタブ	75	105
古切手	65	35
食 材	44	46
家 電	2	6
介護用品	24	24
手作り作品	19	13
書き損じはがき・ベルマーク プリペイドカード他	54	42
計	325	271

#### (ウ) 払い出し

事 業 名	件数	払出金額(円)	内容
歩行補助器購入助成事業 (上限5,000円)	25	125,000	高齢者の介護予防の一環として、歩行補助器購入助成を行っています。
チャイルドシート・ベビーカー 購入助成事業 (上限5,000円)	74	359,717	子育て支援の一環として、チャイルドシート・ベビーカー・ジュニアシート購入の助成を行っています。
安全坊や設置事業	123	251,550	交通安全活動の一環として、学校や住民の申出に基づき信号機のない交差点等の危険個所へ安全坊やを設置しています。
地域福祉事業	2	47,075	誰もが安心して暮らせるまちづくりの一環として、今年度はベンチを1基、車イス1台の払い出しを行いました。

上記以外にも地域からの相談や要望に応じて、必要な払い出しを行っています。



## ■事業収入の確保

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	各事業所においては、既述のとおり年次計画(目標)に基づき事業収入の確保を目指しました。各事業所における成果や課題を、管理職会議で共有し、共通的に取り組むことで法人全体の組織強化につなげています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大や職員の異動の影響を受けながらも、各事業で一定の実績をあげることができました。今年度の状況を踏まえ、コロナ禍においても一定の成果を残せるよう事業を推進します。
----------------------------	---

## ■適正な運営

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	各事業とも法令を遵守した人員の配置とサービスの提供を行いました。事業の収支状況については、四半期ごとに実績を理事監事會で報告、共有しています。サービスを継続するために必要な有資格者・職員の計画的な育成と採用は、社協だけでなく市域・圏域全体の課題です。次年度は、市や県の施策を活用し事業の継続・拡大に必要な人材の確保をすすめ適正な運営を目指します。
----------------------------	---

## ■介護保険サービス

### (ア)居宅介護支援事業

#### ◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	1,665,540	1,689,980	△ 24,440
5月	1,636,070	1,641,870	△ 5,800
6月	1,663,450	1,788,000	△ 124,550
7月	1,661,600	1,766,500	△ 104,900
8月	1,595,710	1,759,190	△ 163,480
9月	1,635,870	1,896,750	△ 260,880
10月	1,595,450	1,907,930	△ 312,480
11月	1,646,560	1,881,420	△ 234,860
12月	1,595,820	1,861,960	△ 266,140
1月	1,593,660	1,779,060	△ 185,400
2月	1,596,440	1,780,430	△ 183,990
3月	1,626,990	1,759,600	△ 132,610
合計	19,513,160	21,512,690	△ 1,999,530

### (イ)訪問介護事業

#### ◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	2,368,047	2,325,592	42,455
5月	2,373,490	2,423,467	△ 49,977

6月	2,540,156	2,339,555	200,601
7月	2,302,644	2,429,209	△ 126,565
8月	2,160,779	2,412,516	△ 251,737
9月	2,102,189	2,436,779	△ 334,590
10月	2,136,687	2,487,244	△ 350,557
11月	2,176,548	2,335,586	△ 159,038
12月	2,111,073	2,422,403	△ 311,330
1月	2,039,512	2,229,467	△ 189,955
2月	2,066,044	2,110,863	△ 44,819
3月	2,264,950	2,316,656	△ 51,706
合計	26,642,119	28,269,337	△ 1,627,218

■障害福祉サービス

(ア)居宅介護等事業(ヘルプ)

◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	2,021,107	1,813,196	207,911
5月	1,956,158	1,916,800	39,358
6月	2,097,197	1,877,785	219,412
7月	2,057,092	1,808,521	248,571
8月	2,036,884	1,817,294	219,590
9月	2,027,512	1,914,276	113,236
10月	2,010,469	1,871,451	139,018
11月	2,025,039	1,803,560	221,479
12月	2,120,279	1,876,300	243,979
1月	1,946,894	1,778,441	168,453
2月	1,931,554	1,835,591	95,963
3月	2,246,960	2,085,871	161,089
合計	24,477,145	22,399,086	2,078,059

### (イ)相談支援事業

#### ◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	1,304,810	1,328,360	△ 23,550
5月	1,126,360	1,040,930	85,430
6月	810,710	1,069,540	△ 258,830
7月	980,800	1,031,680	△ 50,880
8月	1,150,330	1,175,050	△ 24,720
9月	839,190	829,330	9,860
10月	1,108,160	997,820	110,340
11月	1,154,290	1,069,760	84,530
12月	1,185,040	1,028,060	156,980
1月	1,183,330	962,080	221,250
2月	996,290	870,190	126,100
3月	1,047,280	1,006,770	40,510
合計	12,886,590	12,409,570	477,020

### (ウ)移動支援事業

#### ◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	19,790	11,340	8,450
5月	11,970	5,660	6,310
6月	22,360	20,500	1,860
7月	14,290	19,380	△ 5,090
8月	11,050	12,960	△ 1,910
9月	13,490	16,240	△ 2,750
10月	25,550	9,900	15,650
11月	14,190	11,340	2,850
12月	27,050	12,960	14,090
1月	12,690	12,690	0
2月	11,070	14,310	△ 3,240
3月	13,860	15,960	△ 2,100
合計	197,360	163,240	34,120

### (工)生活介護(なでしこ)

#### ◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	3,378,679	3,292,384	86,295
5月	2,787,576	3,109,956	△ 322,380
6月	3,320,409	3,478,429	△ 158,020
7月	3,276,351	3,490,277	△ 213,926
8月	2,393,666	3,008,456	△ 614,790
9月	3,088,858	3,210,485	△ 121,627
10月	3,121,966	3,226,817	△ 104,851
11月	3,194,560	3,037,757	156,803
12月	3,014,750	3,200,467	△ 185,717
1月	2,431,340	2,579,278	△ 147,938
2月	2,719,330	2,782,996	△ 63,666
3月	3,213,470	3,421,627	△ 208,157
合計	35,940,955	37,838,929	△ 1,897,974

### (才)児童発達支援(なでしこ)

#### ◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	1,044,440	641,100	403,340
5月	891,410	725,130	166,280
6月	1,176,661	839,980	336,681
7月	1,208,957	825,590	383,367
8月	908,896	927,540	△ 18,644
9月	1,186,210	1,009,480	176,730
10月	1,112,883	1,016,542	96,341
11月	1,186,596	950,989	235,607
12月	1,279,030	1,058,039	220,991
1月	1,149,174	1,000,685	148,489
2月	1,207,938	1,012,566	195,372
3月	1,237,261	1,077,022	160,239
合計	13,589,456	11,084,663	2,504,793

## (九) 放課後等ティーサービス(なでしこ)

### ◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	734,166	611,150	123,016
5月	628,357	592,300	36,057
6月	703,313	575,853	127,460
7月	833,620	621,293	212,327
8月	568,019	617,779	△ 49,760
9月	752,060	588,257	163,803
10月	710,423	554,126	156,297
11月	804,855	606,364	198,491
12月	682,302	510,572	171,730
1月	697,677	530,132	167,545
2月	622,206	540,052	82,154
3月	800,616	598,643	201,973
合計	8,537,614	6,946,521	1,591,093

## (4) 財政基盤の強化(補助金・受託金)【会費・事業収入その他】

第3次計画到達点・行政とともに補助、受託事業のあり方について検討し、数値化できない事業や活動の成果を可視化できるようにします。また、補助、受託金事業の成果が見せられることにより社協の存在意義を明確にし、安定した財源確保ができるようになることで、さらに地域福祉を推進します。

### ■活動、取り組みの可視化

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	<p>活動や取り組みの可視化については、社協の構成員である住民や事業者、関係機関とカウンターパートナーである行政向けに社協広報紙「わかば」や「センターだより」のほか、自治会や民生委員・児童委員、老人クラブ等の団体の会合にできる限り参加し、活動の効果や成果を伝えるとともに会費や共同募金についても理解をすすめできました。</p> <p>今年度は新型コロナウィルス感染症の再拡大により会合そのものが開かれない状況が続きました。次年度は対面による伝達を徐々に再開するとともにマスコミやインターネットを活用し市内外へ社協活動の発信力を高めていきます。</p>
----------------------------	---

### ■活動に必要な財源の要望

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	<p>今年度は、生活困窮者自立支援相談事業で1名の職員が行政実務研修制度を活用し市役所へ出向しました(R4も継続)。社会福祉法の改正に伴い、令和3年度から各市町において「重層的支援体制整備事業」実施の検討を進めていくことから、これまでの活動の成果を活かせるように地域福祉計画の策定作業をとおして、行政と共に検討しました。また、エリア担当ワーカーと生活支援コーディネーターの適正配置を要望するほか、南あわじ市の地域福祉を推進していくための組織体制を再考し、地域共生社会の実現に向けて重層的な支援体制を構築していくよう、行政との調整と協議をすすめています。</p>
----------------------------	--

■補助金（全期分） (単位：円)

名称	今年度	前年度	比較
福祉コミュニティづくり推進事業(市)	21,500,000	21,500,000	0
ひょうご災害ボランタリーアクション事業補助金(県)	1,000,000	1,000,000	0
ボランタリーアクション支援事業(市)	1,000,000	1,000,000	0
障がい者交流事業補助金(市)	91,000	300,000	△ 209,000
音声パソコン教室(市)	187,000	200,000	△ 13,000
みんなの食堂事業(市)	1,087,000	0	1,087,000

■受託金（全期分） (単位：円)

名称	今年度	前年度	比較
福祉サービス利用援助事業	2,106,000	1,860,000	246,000
生活福祉資金貸付事業	1,096,447	1,023,894	72,553
共助の基盤づくり事業	3,998,500	3,998,500	0
第2層生活支援体制整備事業	8,000,000	8,000,000	0
相談支援事業受託金収入	6,665,500	6,665,500	0
基幹相談支援事業受託金収入	2,230,000	2,040,000	190,000
その他の受託金収入	6,600	1,980,000	△ 1,973,400
要介護認定調査事業	132,000	89,100	42,900
介護予防支援事業	225,780	249,920	△ 24,140
障害程度区分認定調査受託金	158,400	162,800	△ 4,400

(5) 財政規律の強化【会費・事業収入その他】

第3次計画到達点…第三者を含めた経営会議を開催し、経営改善を行うことで安定した法人運営を目指し、利益を地域に還元する仕組みをつくります。

■内部牽制のしくみづくり

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	<p>予算管理や執行については、担当者から管理職、管理職から総務の決裁ルールのもと、内部牽制とチェック機能を働かせています。また、管理職会議を定期化し経営状況についての共有と経営改善に向けた協議に努めています。</p> <p>なかでも利用者の預金、現金を取り扱う日常生活自立支援事業においては、全国的に不祥事が絶えない状況にあるため、より強いチェック体制のもとを行っています。定期的な自主点検を行えていないため、次年度においては計画に基づき実施します。</p>
---------------------------	--

## ■情報の公表

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	<p>ホームページや社協広報「わかば」で公表するほか、自治会、民生委員・児童委員、地域交流センター等の会議で、社協の活動や会費・共同募金の使いみちなど、社協の財源や使途について説明を行っています。今年度も会議そのものが開かれない時期が続きましたが、金融機関や商業施設にチラシや広報を配布するなど、より多くの市民の手に届くよう努めました。また、「障害福祉サービス等情報公表システム」、「財務諸表等電子開示システム」によりフェブ上で法人と事業所の情報を開示しています。</p> <p>今後は動画アプリの活用など、幅広い年齢層に対し啓発の要素を取り入れた情報を積極的に公表していきたいと考えています。</p>
----------------------------	---

## 取り組み② 人材育成

### (1) 職員の資質向上に向けた取り組み【補助金・受託金・事業収入その他】

第3次計画到達点…法人の理念や目標を明確にし、役職員で共有し同じ方向を目指します。地域福祉をさらに推進できる職員を育成し、法人の組織力を強化します。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参集型の全体研修は1回のみの実施となりました。

#### ■職場内研修 【会費、事業収入】※全体研修のみ掲載

月日	研修テーマ	出席者数	場所
R3.7.30	地域福祉推進計画について	24	203会議室

#### ■職場外研修の参加

月日	研修等の名称	参加者	集合・オンラインの別
R3.4.23	社会福祉協議会新任職員研修	中野・橋本	オンライン
R3.4.27	社会福祉協議会新任職員研修	中野・橋本	オンライン
R3.5.25	市町相談支援担当者・基幹相談支援センター等連絡会議	平見	オンライン
R3.5.29	2021年度淡路地区人権教育研究協議会定期総会	長井	オンライン
R3.6.11	令和2年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	平見	オンライン
R3.6.12	令和2年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	平見	オンライン
R3.6.13	令和2年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	平見	オンライン
R3.6.16	令和3年度 居宅介護事業所連絡会研修	森・三宅・衣笠・藤野	オンライン
R3.6.17	日常生活自立支援事業 令和3年度第1回契約締結審査会	奥井	集合
R3.6.18	淡路島の社会福祉協議会職員協議会第1回業務研究会	東庄・濱田 他11名	集合
R3.6.19	兵庫県相談支援ネットワーク定期総会基調講演 「相談支援に未来はあるのか?その2」	平見・東庄	オンライン
R3.6.26	令和2年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	平見	オンライン

R3.6.27	令和2年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	平見	オンライン
R3.6.28	令和3年度 管理者研修（兵庫県ホームヘルプ事業者協会）	森・三宅	オンライン
R3.6.30	令和3年度 生活支援体制整備事業 市町担当者・管理者会議	山口・平見・谷本	オンライン
R3.7.2	淡路島の社会福祉協議会職員協議会第2回業務研究会	東庄・濱田 他9名	集合
R3.7.15	淡路障害者自立支援協議会こども連絡会情報交換会	東庄・田中・倉本・中野・橋本	オンライン
R3.7.15	令和2年度 兵庫県サービス管理責任者研修	畠中	オンライン
R3.7.16	社会福祉施設・事業所のBCP策定講座（事業継続計画）	長井・山口	オンライン
R3.7.16	令和2年度 兵庫県サービス管理責任者研修	畠中	オンライン
R3.7.20	令和3年度家庭療育支援講座研修会	藤本	オンライン
R3.7.20	淡路島の社会福祉協議会職員協議会第3回業務研究会	東庄・濱田 他6名	集合
R3.7.27	県内社協事務局長会議	山口	オンライン
R3.8.7	第68回兵庫県人権教育研究大会 淡路地区大会	長井	オンライン
R3.8.12	令和3年度障害支援区分認定調査員研修	中野	オンライン
R3.8.19	令和3年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	田中	オンライン
R3.8.20	令和3年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	田中	オンライン
R3.8.21	令和3年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	田中	オンライン
R3.8.25	令和3年度包括的支援体制づくりセミナー	山口・平見・奥井	オンライン
R3.8.26	令和3年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	田中	オンライン
R3.8.27	令和3年度 兵庫県主任相談支援専門員養成研修	田中	オンライン
R3.8.31	淡路島の社会福祉協議会職員協議会第4回業務研究会	東庄・濱田 他8名	オンライン
R3.9.13	生活支援コーディネーター基礎セミナー	平見・川口	オンライン
R3.9.14	防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業市町意見交換会	山口・平見・田中・奥本	オンライン
R3.9.24	令和3年度 淡路障害者自立支援協議会 基礎研修会	中野・橋本	オンライン
R3.10.6	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	倉本	集合
R3.10.7	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	倉本	集合
R3.11.4	令和3年度障害者虐待対応力向上研修	田中	集合
R3.11.8	令和3年度福祉サービスに関する苦情解決セミナー	森	オンライン
R3.11.9	令和3年度障害者虐待対応力向上研修	田中	集合
R3.11.10	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野	集合
R3.11.11	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野	集合

R3.11.12	令和3年度こども連絡会保護者研修会・情報交換会	東庄	オンライン
R3.11.15	兵庫県BCP策定・運用のポイント研修	山口・平見・森・松本・東庄	オンライン
R3.11.16	令和3年度社協経営セミナー（財務会計基礎編）	東庄・田中・倉本・中野・橋本	オンライン
R3.11.16	令和3年度医療的ケア児等コーディネーター講演会	東庄・田中・倉本・中野・橋本	オンライン
R3.11.17	令和3年度サービス提供責任者研修	森・三宅・池田	オンライン
R3.11.24	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	倉本	集合
R3.11.25	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	倉本	集合
R3.11.26	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	倉本	集合
R3.11.26	令和3年度 淡路圏域在宅療養支援推進会議	東庄・田中・中野・橋本	オンライン
R3.11.27	令和3年度淡路障害者自立支援協議会障害理解促進研修	東庄	オンライン
R3.12.5	第6回小児在宅医療講習会	東庄	オンライン
R3.12.8	高次脳機能障害研修～事例を通して学ぶ事業所における支援～	東庄・倉本・橋本	オンライン
R3.12.15	淡路島の社会福祉協議会職員協議会「交流事業」	東庄・濱田 他7名	集合
R4.1.11	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野	オンライン
R4.1.12	令和3年度生活福祉資金貸付事業担当者会議	奥井	集合
R4.1.13	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野	オンライン
R4.1.14	令和3年度兵庫県相談支援従事者初任者研修	中野	オンライン
R4.1.19	令和3年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	田中	オンライン
R4.1.31	令和3年度強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	田中	オンライン
R4.2.6	淡路島の社会福祉協議会職員協議会「新年のつどい」	東庄・濱田 他9名	オンライン
R4.2.8	高次脳機能障害研修～子どもの高次脳機能障害について～	東庄・倉本・中野・橋本	オンライン
R4.2.10	令和3年度兵庫県相談支援従事者現任研修	東庄	オンライン
R4.2.10	令和3年度日常生活自立支援事業第2回専門員会議	山本	オンライン
R4.2.11	令和3年度兵庫県相談支援従事者現任研修	東庄	オンライン
R4.2.14	令和3年度兵庫県相談支援従事者現任研修	東庄	オンライン
R4.2.15	令和3年度兵庫県相談支援従事者現任研修	東庄	オンライン
R4.2.18	防災と福祉の連携促進シンポジウム	東庄	オンライン
R4.2.28	市町相談支援担当者・基幹相談支援センター等連絡会議	平見・東庄・田中・橋本	オンライン
R4.3.8	福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」	山本	オンライン
R4.3.18	令和3年度日常生活自立支援事業生活支援員研修会	山本、赤松、大住、片山、竹中	オンライン

■法人内研修

月	研修等の名称	参加対象	
11月	・メンタルヘルス研修　・コンプライアンス研修	全職員	
11月	・感染症対策研修	居宅・訪問・相談なでしこ	
12月	・防災訓練	全職員	※未実施
1月	・認知症ケア研修	居宅・訪問	
2月	・地域福祉推進計画	全職員	※未実施
3月	・虐待防止研修	居宅・訪問・相談なでしこ	

■会議を活用した職場内研修 【会費、事業収入】

研修・会議等の名称	内容	開催頻度等
管理職会議	各部からの報告・感染症対策や法人運営の課題を協議	月1回
オール社協会議	各支部での情報共有、個別ケースから見える地域課題等	週1回
ワーカー連携会議	各ワーカーからの報告、協議、確認等	週1回
ケアマネ会議	研修計画に基づく研修の実施・運営に関する事・ケースの共有、検討	週1回
相談支援専門員会議	多職種参加によるケースの共有と困難事例の検討	週1回
ヘルパー会議	研修計画に基づく研修の実施・運営に関する事・ケースの共有、検討	月1回
なでしこミーティング (児童)	運営に関する事、予約状況の確認、ケース検討等	月2回
なでしこミーティング (生活介護)	運営に関する事・ケース検討・リスクマネジメント等	月1回

※これら以外にも、担当者会議等を通して職員の資質向上に取り組んでいます。



## ■表彰

受賞者・団体	表彰名・大会等	表彰の内容
倭文中学校		
広田小学校		
倭文小学校		
榎列小学校		
松帆小学校		
辰美小学校	兵庫県共同募金会会長感謝	5年以上および功労が優秀であり、他の模範と認められるもの
市小学校		
賀集小学校		
福良小学校		
伊加利こども園		
福良こども園		
蒼開中学校高等学校 ジャズバンド部		
登 真紀	知事表彰（ホームヘルパー功労者） 第69回兵庫県社会福祉大会	ホームヘルパーの業務に20年以上従事し、特にすぐれた功績のあった者
三宅 朱音		
馬野 君子		
玉岡 自子		
山口 勇樹	県社協会長表彰（永年勤続） 第69回兵庫県社会福祉大会	社協職員として20年以上従事した者
北川 知子		

## ■人材育成プログラム

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	日常業務の相談や会議の場でOJTを意識した職員の育成に取り組んでいます。ほか、職能、職責ごとにキャリアパスと連動した外部研修を受講しました。 また、ワーキングチームにより職責・職能に必要な知識とスキルを身につけられるよう研修計画を策定しR2年度から運用しています。淡路島の職員協議会で開催したオンラインツール学習会や交流会には多くの職員が参加し、どこにいても学べる環境が整いました。
----------------------------	--

## ■キャリアパスのしくみづくり

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	職員のモチベーションを高め働きがいのある職場づくりとこれからの体制強化・整備をすすめることを目的に、研修のあり方を見直すとともにキャリアパスのしくみをつくり、年間目標シートと連動させて運用しています。今年度の研修については、ほとんどがオンラインによる参加になりましたが、研修内容によっては集合型のものもあります。 次年度は、開催形式に関係なく、研修の成果を組織内に循環できるよう、参加した職員が内部研修の講師になるなどの取り組みに着手します。
----------------------------	--

## ■産業医の選任・安全衛生委員会の設置

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方針等)	今年度も全職員の健康診断を実施後に産業医による指導とメンタルヘルスチェックを行います。また、安全衛生委員会、感染症対策委員会は管理職会議に位置づけ開催し、対策等を各職員に周知するようにしています。 【産業医】穀内クリニック 穀内勇夫医師、穀内純江医師
---------------------------	--

## ■苦情等を改善につなげる取り組み

今年度から一定のルールのもと報告・共有を徹底し、職員の資質向上とサービスの改善に結びつけています。上半期においては重大な事故はなかったものの、「信用失墜」や「利益損失」に発展しかねない事案がありました。根気強く職員一人ひとりの意識にはたらきかけ、信頼される組織づくりをすすめます。

### 【部・所別】

部・所名	種別	件数	主な内容
総務・地域	苦情	0	
	事故	11	手続き遅延、確認不足、配達物誤配、書類未確認、管理不徹底、手順間違い、監督不行き届き、思い込みによる誤った判断
訪問介護	苦情	1	サービス内容
	事故	17	賃金過払い、請求誤り、サービス未提供、買物連絡ミス、連絡不足、利用者宅器物破損、確認ミス、車両事故
居宅介護支援	苦情	0	
	事故	2	個人情報流出、車両事故
相談支援	苦情	1	不適切な言動
	事故	7	経済的損失、車両事故、請求誤り、紛失
生活介護	苦情	0	
	事故	14	利用者間トラブル、器物破損、外傷、紛失、器物破損、確認ミス、転倒、車両事故
児童・放ディ	苦情	1	説明不足、不適切な対応
	事故	4	車両事故、情報の流出、外傷、ダブルブッキング



【改善に着手した内容と成果】※苦情・事故の有無に関係なく改善に着手したものを記載しています。

部・所名	着手した点	内容と成果
総務・地域	苦情への早期対応と情報共有の徹底	丁寧な苦情対応を徹底し、苦情内容の共有と分析を行うようにした。再発しないように具体的な対応を検討し、対応策を全体で共有している。
	チェック体制の強化	重要な申請書類をお預かりをした際は、複数職員でのチェックをするとともに、書類の預かり後は早急に処理するようにした。重要書類を預かった際は、必ず記録に残すようにした。
訪問介護	請求事務の見直し	請求業務を行う前に、全員分の訪問記録とソフトに入力している実績を照合する。キャンセル料や同行訪問の記録を都度別紙にも記録し、提出があつた報告書と照合する。こうすることで後手後手に誤りを発見することが無くなっている。
居宅介護支援	ケース以外での業務の共通意識	ケース検討会などを毎週行っていたが、『居宅ミーティング』として、ケース共有だけに関わらず、請求や介護報酬、居宅介護支援の業務の見直しやスキルアップなどを行う機会を作り、運営についての意識を職員が共通して持てるように意識改革を図っている。
	初回相談シートの様式見直し	初回相談シートの書式の見直しを行い、情報収集すべき項目について確認を行うことで、情報を整理しやすくした。また、部内全体で、パソコンでの画面で共有できるようにした。
相談支援	チェック体制の強化	必要物品の発注、重要書類についてのお預かりをした際は、複数職員でのチェックをするとともに、書類の預かりについては必ず記録に残すようにした。
	手順の確認	貴重品などお預かりをしたものを持ち出したり、金銭の支払い代行などをした際の手順を再度確認した。
生活介護	移乗用リフトの導入検討	これまで導入については話し合っていたが、数名の利用者に使用するために必要かと思案していた。7月に業者ヘデモ機の貸出を依頼し、使用方法について説明を受ける。その後、約2か月間リフトを使用。移乗に時間がかかるも、利用者にも職員にも負担が軽減すると実感することができた。
児童・放ディ	研修体制の見直し	他機関や他部署から心理職としての意見をも求められることが多くなった。職員の専門知識や技術の向上に加え、プレゼンテーション能力の向上を目指し、講義形式での勉強会を最低年4回実施することにした。
	苦情解決のためのケース検討	「苦情」に至った要因を明確にするため、ケースの振り返りをした。①アセスメント力の向上、②PDCAサイクルの実施、③コミュニケーション力アップ、④信頼関係の構築、⑤相談しやすい職場環境が課題だということが明確になった。まずは、日々の療育を丁寧に検証し記録することから取り組むことにした。

## 計画の推進と策定

### ■第3次地域福祉推進計画の振り返りと地域ニーズの把握

第3次地域福祉推進計画が最終年度を迎えるため、これまでの活動の振り返りと地域課題の把握を行いました。

市の地域福祉計画策定作業と合同でアンケート調査、関係機関へのヒアリング調査、各地域でのワークショップを実施しました。地域の課題を整理し、これから地域福祉を進めていくために必要なことについて協議を進めることができました。

### ■第4次地域福祉推進計画策定委員会

開催日時	内容	出席者数	場所
R3.7.13	行政との合同策定委員会 南あわじ市地域福祉計画・地域福祉推進計画の概要についてグループワーク ①アンケートを見た感想 ②地域の現状・活動を進めていく上で課題となっていることはなんだろう	社協委員 16名 行政委員 13名	広田地区公民館
R3.10.4	地域のとらえ方について 報告 福良まちづくり推進協議会 NPO法人コミュニティスペースエモラボ グループワーク ①発表を聞いての感想 ②小地域でこんな「居場所」や「つながり」があるといいな	13／16	広田地区公民館
R3.12.24	計画骨子案について 実践報告 認定NPO法人ソーシャルデザインセンター淡路 南あわじ氏社協 グループワーク ①困っている人を「ほっとかへん」ために必要だと思うこと・私たちにできること	14／16	南あわじ市社協
R4.2.25	計画素案について グループワーク 「計画素案に対する意見交換」	8／16	南あわじ市社協
R4.3.22	計画の承認について グループワーク できたらいいなプロジェクト 意見交換 「みんなでこんな南あわじにしていこう！」	12／16	南あわじ市社協

## 第69回 兵庫県社会福祉大会

第69回兵庫県社会福祉大会が初めて南あわじ市で開催されました。準備から当日の運営については、兵庫県、兵庫県社協、南あわじ市、そして市社協が協働して行いました。

写真は、当日の式典・表彰式のようすです。

月日	内容	参加者数	場所
R3.11.12	記念式典、表彰、講演	約500人	元気の森ホール

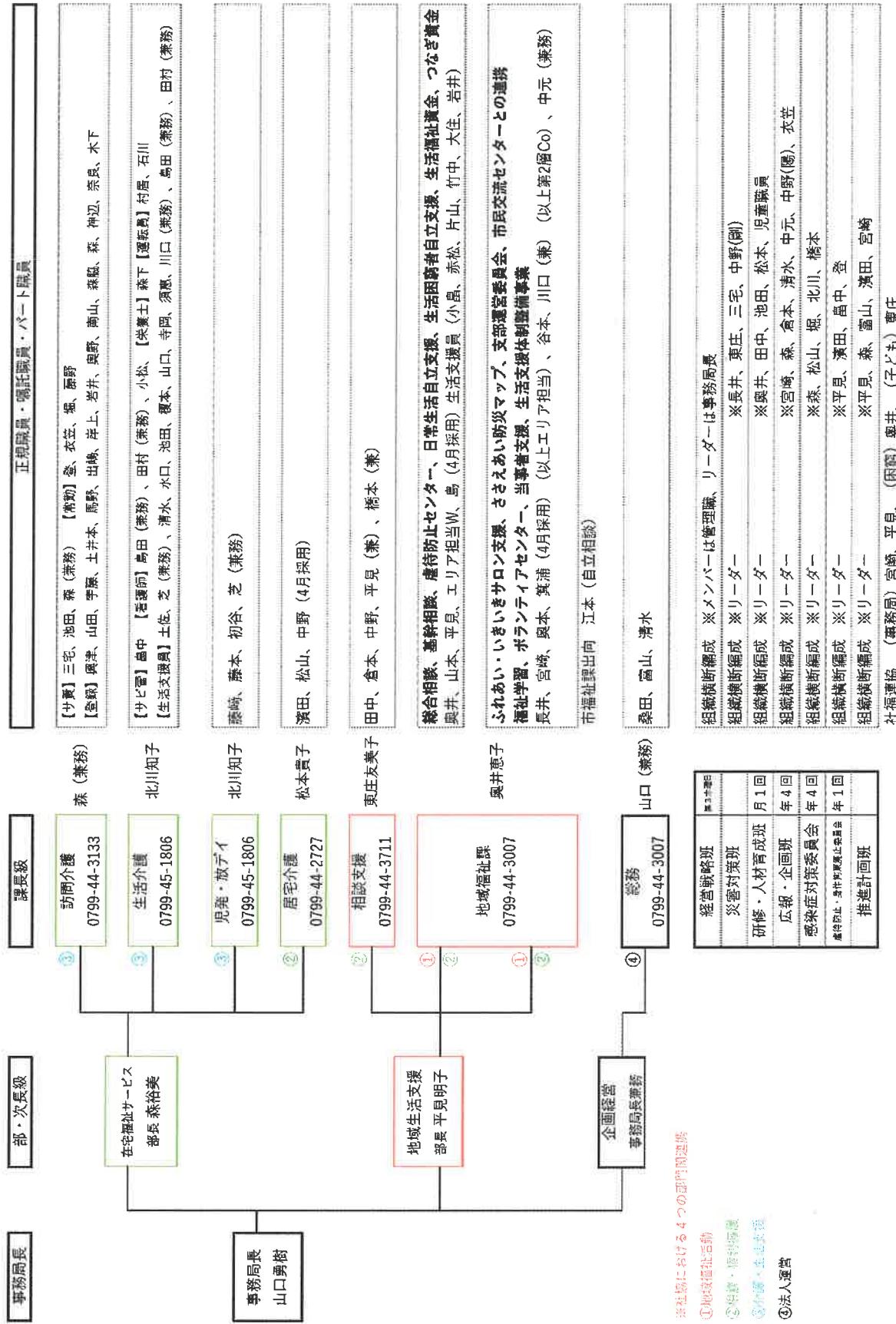


■職員配置（3月31日現在）

職種	常勤	常勤嘱託	パート	採用人数	退職人数
コミュニティワーカー	7(3)	1			
生活困窮者自立（主任）相談員	(1)				
生活支援コーディネーター		2(1)		1	1
ボランティアコーディネーター	(1)				
介護支援専門員	3	(1)			
訪問介護管理者	1				
訪問介護員	5	1	15(1)	1	
相談支援専門員	4(1)			1	
児童発達支援管理責任者		1			
サービス管理責任者	1				
児童指導員	3				
看護師			2(2)		
生活支援員		(1)	10(2)	2	1
栄養士			1		
調理員		(1)			
運転員			2	1	
市役所出向	1				
その他	3	1	6(1)	3	2
実数	28	6	36	9	4

※職種は主な業務でカウント、( ) 中数字は兼務の人数。※採用、退職は今年度中における数を記載。

社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会 事務局体制 (2022.4.1現在)



第三章 仁者之德

- ①地政權在活動  
②官員：樞密院  
③官員：土史太師  
④法人運營